

KL-M6

取扱説明書 保証書付

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

準備編

電源との接続、テープカートリッジの装着などを説明しています。

おためし印刷編

簡単なデータを作って印刷するまでの流れを説明しています。

ラベル作成編

工夫したデータの作り方を説明しています。

入力・編集編

文字の入力・修正や書体の変更などを説明しています。

設定編

画面の輝度、印刷の濃度の設定などを説明しています。

付録

使い方が分からなくなったときの対処などを説明しています。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について

- ❗ アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
 1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
 2. ただちに医師の治療を受ける。そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

- ⊘ 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
 3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口へ連絡する。

ACアダプターについて



- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ❗ 必ず付属品を使用する
 - 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
 - ⊘ 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしな

警告


AC アダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

-  ● 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
-  ● 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口ご連絡する



AC アダプターについて

-  ● 濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
- AC アダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。


警告

電池について


電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

-  ● 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
-  ● 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる

電池について

-  ● 本機内で電池が液もれしたまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに本機の使用をやめてお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口ご連絡してください。

落とさない、ぶつけない

-  ● 本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. AC アダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
 3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口ご連絡する。

警告

分解・改造しない



本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

水、異物はさける



水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. AC アダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する。

火中に投入しない



本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない



本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

警告

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない










電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。
また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

注意



AC アダプターについて

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

-  ストーブ等の熱器具に近づけない
-  プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず AC アダプター本体のプラグを持って抜く）
-  プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
-  旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
-  ご使用後は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
-  プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
-  AC アダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない


電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。


-  本機で指定されている電池以外は使用しない
-  長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

注意





大切なデータは控えをとる

-  本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。


重いものを置かない

-  本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

-  本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 -  湿気やほこりの多い場所
 -  調理台のそばなど油煙が当たるような場所
 -  暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

不安定な場所に置かない

-  ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

- ⊘ 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切る恐れがあります。

高温注意

- ⊘ プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどする恐れがあります。

表示画面について

- ⊘ 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

⚠ 注意

オートテープカッターに注意する

- ⊘ 電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。

使用温度範囲は、10℃～35℃です。

- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法(67ページ)をご覧ください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

目次

準備編	9
各部の名前とはたらき	9
付属品を確認しましょう	10
本機の操作の流れ	11
電源について	12
ACアダプターを使う	12
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！	13
電源を入れる・切る	13
オートパワーオフ（節電）機能について	13
印刷する文章の作り方について	14
テープカートリッジを取り付ける / 取り外す	15
テープカートリッジを取り付ける	15
テープカートリッジを取り外す	16
キーのはたらき	18
キーの表記について	19
画面について	20
おためし印刷編	21
まずは作ってみましょう	21
ラベルを印刷する	21
ラベルを貼る	23
テープを送り送る	23
テープの余白を「送り無」にしたときは	23
終了する	24
文字の入力について	24
印刷時の注意事項	24
印刷とカットモード	25
カットモードについて（オートカッター）	25
カットのしかたと余白について	27
ラベル作成編	28
ラベル作成の流れ	28
操作の流れ	28
フォーマットを選んで作る（用途別ラベル）	29
フォーマットを選ぶ	29

通し番号のついたラベルを作る（ナンバリング）	31
ナンバリングの種類	31
ロゴ入りのラベルを印刷する（デザインロゴ）	33
自由に入力して作る（フリーラベル）	35
2行以上のラベルを作る	35
ラベルの書式を決める	36
ラベルの長さを自由に決める	39
ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）	39
CD・DVD・VHS用のラベルなどを簡単に設定する （テープ長さダイレクト設定キー）	40
文章のバランスを整える（割付）	41
文字の大きさを決める	42
フレームを付ける	44
縦書きのラベルを作る	45
作成したデータを登録する・呼び出す	46
データを登録する	46
登録したデータを呼び出す	47
登録したデータを削除する	47
入力・編集編	48
カーソルのはたらきと動かし方	48
ローマ字入力？それともかな入力？	49
ローマ字入力とかな入力を切り換える	49
入力する文字の切り替え方法	49
ひらがな・カタカナの入力	49
アルファベット（大文字・小文字）の入力	49
ひらがな・カタカナの入力	50
ひらがなの入力	50
カタカナの入力	50
いろいろな文字の入力方法	51
漢字の入力	51
文章を入力してから変換する	51
同音異義語を変換する	52
漢字1文字ずつ変換する（単漢字変換）	53
アルファベット・数字・記号・絵文字の入力	54
アルファベットの入力	54
数字の入力	54
記号（キーに印刷されているもの）の入力	55
記号（その他の記号）の入力	55

絵文字の入力	56
文字を修正・削除するときは	56
文字を1文字ずつ消す	56
すべての文字を消す (文削除)	57
間違った文字を直す	58
書体 (フォント) を変える	60
入力済みの文字の書体を変える	60
電源を入れたときの書体を決める	61
文字を目立たせる	62
文字に飾りをつける	63

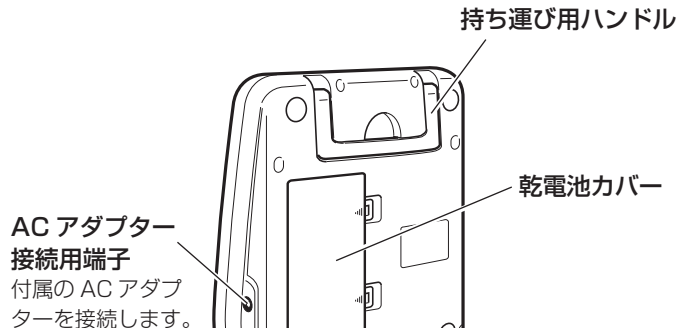
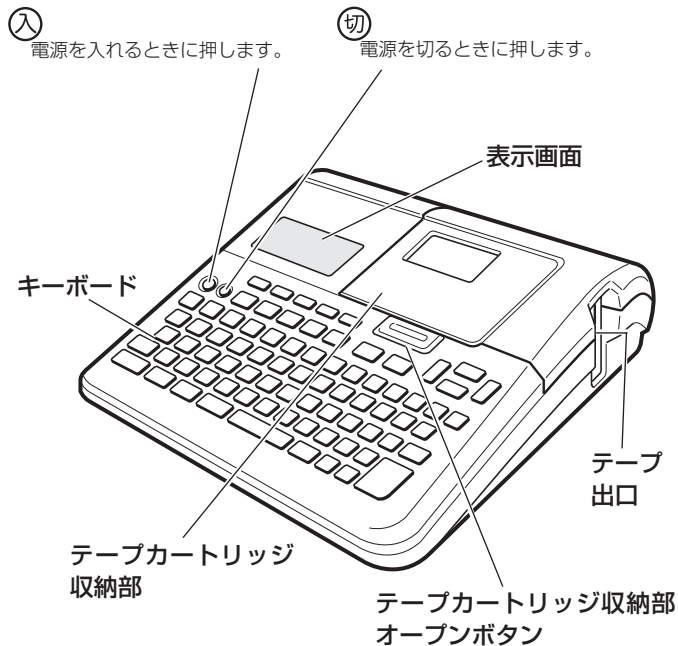
設定編64

設定を変える	64
設定できる項目	64
画面の明るさを変えたい	64
印刷の濃さを変えたい	64
サンプルデータを印刷する (デモ印刷)	65

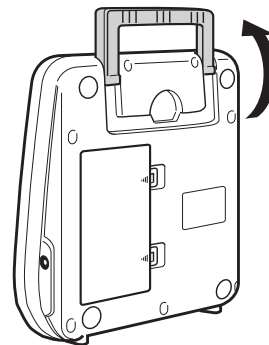
付 録66

電源について	66
乾電池で使う	66
お手入れの方法	67
綿棒できれいにする	67
クリーニングテープを使う	67
こんなときは (トラブルシューティング)	68
エラーメッセージ一覧	71
ローマ字入力一覧	74
記号・絵文字一覧	75
フレーム一覧	78
用途別ラベルフォーマット一覧	79
ナンバリングフォーマット一覧	82
テープ幅と行数・倍率一覧	82
各機能における使用可能テープ幅一覧	82
デザインロゴ一覧	83
内蔵漢字一覧	85
仕様	90
別売品について	91
索引	92
保証・アフターサービスについて	94

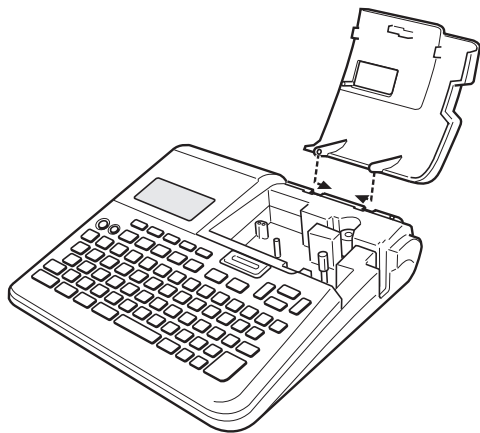
各部の名前とはたらき



■持ち運ぶときは
本機を持ち運ぶときは、図のように持ち運び用ハンドルを引き上げてお使いください。



■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら
テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。

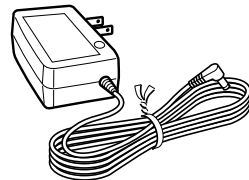


付属品を確認しましょう

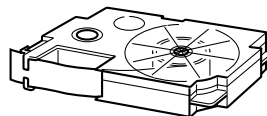
KL-M6 本体



AC アダプター
AD-A12090L



お試し用テープカートリッジ



本書（保証書付）
別売品カタログ

本機の操作の流れ

ACアダプターの接続

12 ページ

または乾電池のセット

66 ページ

- 購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化をしてください。
(13 ページ)
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。



テープカートリッジの取り付け

15 ページ



自由に入力して作る

フリーラベル 21、35 ページ

フリーラベルの編集機能

35 ページ



用途に応じて作る

用途別ラベル 29 ページ

ナンバリング 31 ページ

デザインロゴ 33 ページ



印刷する

22 ページ


電源について

本機を使うときは、電源として付属の AC アダプターまたは市販のアルカリ乾電池を使います。

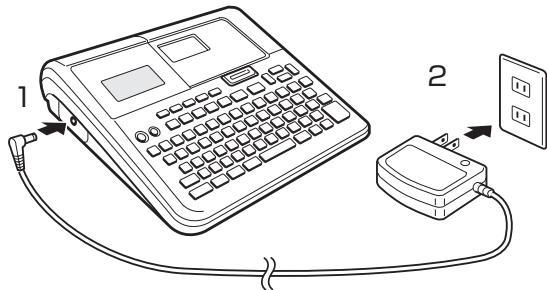
- ご使用前に、「安全上のご注意」(1～5 ページ) を必ずご覧ください。
- 市販の乾電池のセットについては、66 ページをご覧ください。

AC アダプターで使う


■取り付ける

重要  • 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。

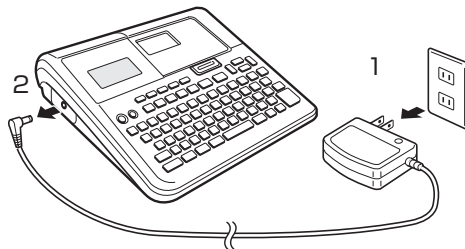
- 1 AC アダプターのプラグを、本機の AC アダプター接続端子に差し込みます。
- 2 AC アダプターをご家庭のコンセント < AC100V > に差し込みます。




■取り外す

- 重要**  • 印刷中に AC アダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや乾電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
 - 「AC アダプターから電池に切り替えるとき」「電池から AC アダプターに切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに切り替えをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
 - 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。


- 1 コンセントから AC アダプターのプラグを抜きます。
- 2 本機の AC アダプター接続端子から AC アダプターのプラグを抜きます。













- 重要**  電源コードの両端部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!


ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

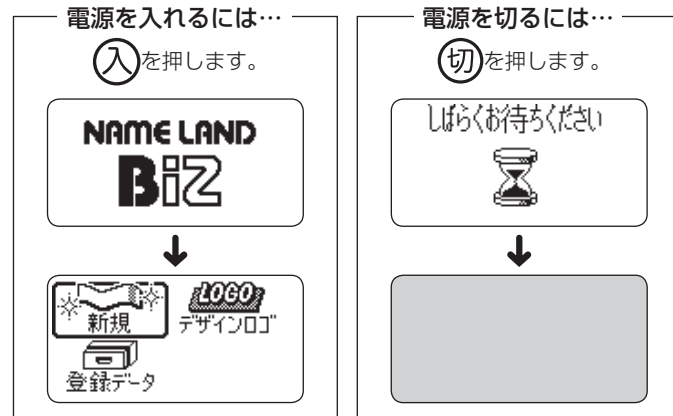
重要  メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

- 1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、 を押します。
- 2  と  をいっしょに押しながら、 を押します。
 と  をいっしょに押し続けたまま、 から指を離します。
- 3  と  から指を離します。
「メモリー初期化? 実行/取消し」が表示されます。
- 4  を押します。

「メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。」


電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは を押すだけで本機を使うことができます。



• 画面の明るさを調整するときは、64 ページをご覧ください。

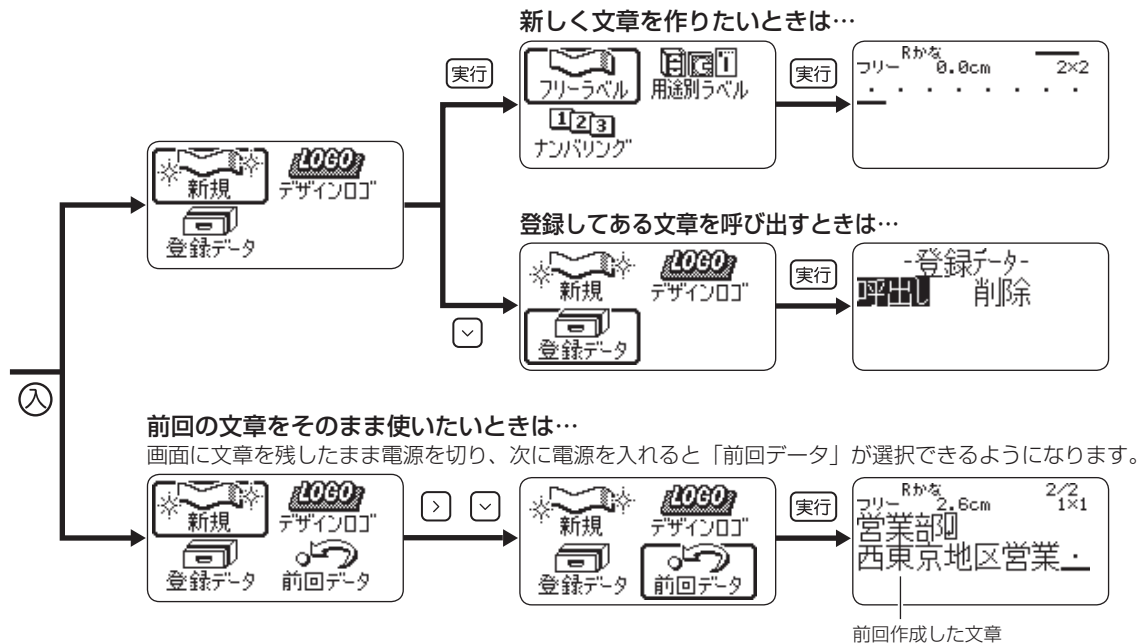
オートパワーオフ（節電）機能について

何も操作をしないで、約 6 分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これをオートパワーオフ機能といいます。再び本機を使うときは、 を押してください。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の3つがあります。

- 新しく文章を作る
- 登録してある文章を呼び出して作る
- 電源を切る前に入力していた文章（前回の文章）を呼び出して作る



- 電源を入れた直後の画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。（データの登録→46ページ）

テープカートリッジを取り付ける / 取り外す

ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。

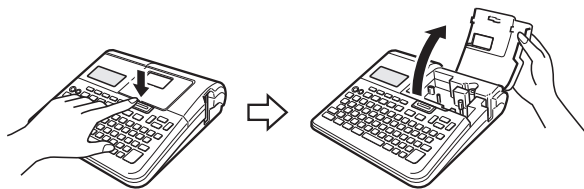
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。

・テープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。

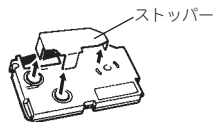
テープカートリッジを取り付ける

1 切を押して、電源を切ります。

2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

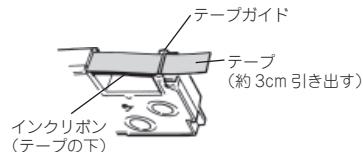


3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



4 テープとインクリボンの状態を確認します。

- ・テープの先が曲がっていない（曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする）
- ・テープの先がテープガイドを通っている
- ・インクリボンがたるんでいない

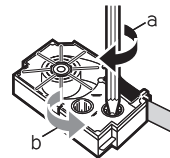


- 重要**
- ・一度引き出したテープを戻すことはできません。
 - ・無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
 - ・インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります

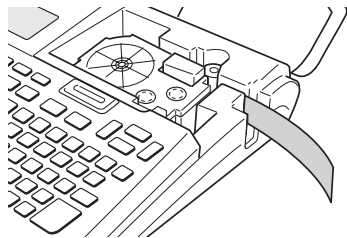
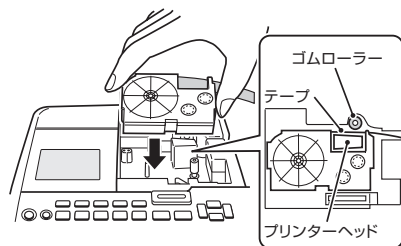
インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。

このとき、テープはいっしょに動きません。



5 テープカートリッジをセットします。
インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 ツ 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



6 テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。



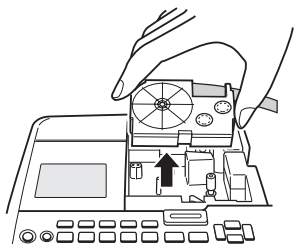
- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

- 1** ①を押して電源を切ります。
- 2** 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

3 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

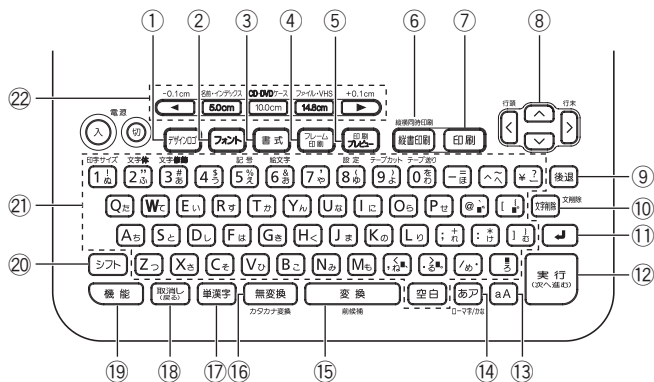
- 印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間を置いてからテープカートリッジを取り出してください。



- 重要** • 当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収／分解し、再資源化しております。使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。



①		デザインロゴを呼び出して印刷するときに押す。
②		フォント（書体）を選ぶときに押す。
③		書式を設定するときに押す。
④		フレーム印刷をするときに押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。
⑤		印刷結果を画面で見るときに押す。
⑥		縦書き印刷をするときに押す。 ・縦横同時印刷をするときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。
⑦		印刷するときに押す。
⑧		・文字が入る位置を示した_ (カーソル) や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 ・項目などを選択するときに押す。
⑨		カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑩		カーソルの上の文字を消すときに押す。 ・入力中の項目の文章をすべて消すときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪		改行するときに押す。
⑫		操作を進めるときに押す。
⑬		アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(49 ページ)
⑭		ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。(50 ページ) ・□一マ字入力とかな入力を切り換えるときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑮		ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 ・1つ前の変換に戻るとき（前候補）は、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。

①6	無変換 <small>カタカナ変換</small>	漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときを押す。 ・入力中のひらがなをカタカナに変換するとき、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
①7	単漢字	1文字ずつ漢字に変換するときを押す。
①8	取消し	操作を戻したり、中止したりするときを押す。
①9	機能	キーの上下または横に 機能 と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
②0	シフト	・かな入力するとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。(51 ページ) ・アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(54 ページ)
②1	(文字キー)	文字を入れるときに押す。
②2	(テープ長さダイレクト設定キー)	フリーラベルで長さを設定するときを押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。



機能と**シフト**の操作には、以下の2つの方法があります。

- 機能** (**シフト**) を押し、指を離してから目的のキーを押す。
- 機能** (**シフト**) を押しながら目的のキーを押す。
・本書の操作説明は、「**機能** (**シフト**) を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

- 本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を **1!** や **実行** などのように表記しています。

例 **1!** を押したあとに続けて **実行** を押すときの表記



1! **実行** と押します。

- 本機のキーの上下または横に**機能**と同じ色で書かれている機能(「設定」や「カタカナ変換」など)を使うには、**機能**を押し、指を離してから**機能**と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例「設定」機能を使うときの表記



機能 を押し、指を離してから **8^{設定}** を押します。

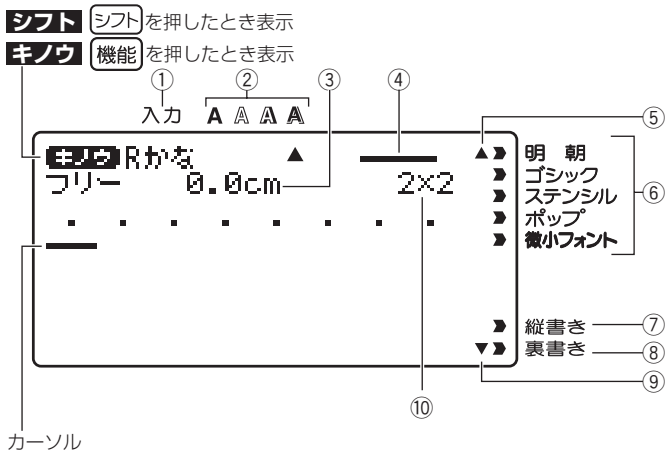
- 操作手順の中で、「**^** **v** **<** **>** を押して…」 「**^** **v** を押して…」 「**<** **>** を押して…」 と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは **取消し** を押します。
- 取消し** を何回押しても希望の画面に戻らないときは、**切** を押して一度電源を切ります。**入** を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面について

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

- 画面の明るさを変えるときは、64 ページをご覧ください。



①	入力できる文字の種類を示す。(49 ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(62 ページ)
③	いま作っているラベルの長さを示す。(39 ページ)
④	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(36 ページ)
⑤	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑥	書体 (フォント) が何になっているかを示す。(60 ページ)
⑦	縦書きになっていることを示す。(36 ページ)
⑧	裏書きになっていることを示す。(36 ページ)
⑨	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑩	文字のサイズを示す。(42 ページ)

まずは作ってみましょう


準備ができれば、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。


ラベルを印刷する

[印刷例]

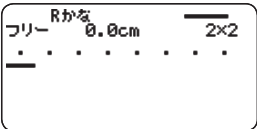
営業レポート

- 1 **入**を押して、電源を入れます。

 - 右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されることがあります。(14 ページ)
- 2 **上****下****左****右**を押して「新規」にし、**実行**を押します。


- 3 **上****下****左****右**を押して作りたいラベルの種類を選び、**実行**を押します。

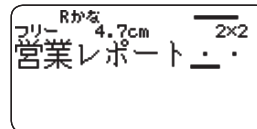
ここでは「フリーラベル」を選びます。



- 4 文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。

 - 文字の入力方法については、24 ページをご覧ください。




■印刷結果を画面で確認する

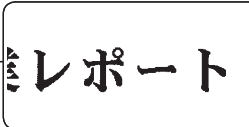
印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

- 1 **印刷プレビュー**を押します。

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます


- 2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、**実行**を押します。

その部分が止まります



実行を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは**取消し**を押します。
- 細かい線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されないことがあります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

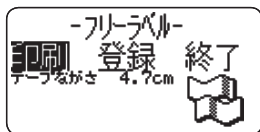
- ご使用前に、「安全上のご注意」の「オートテープカッターに注意する」(5ページ)を必ずご覧ください。
- ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さとは一致しません。

重要 印刷する前に、以下の点にご注意ください。

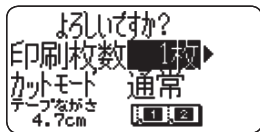


- 印刷時の注意事項(24ページ)を必ずご覧ください。
- 「テープカートリッジがセットされていること」、「テープ出口(9ページ)が物でふさがっていないこと」を確認してください。

1 文字を入力したら、**[実行]**を押します。



2 **[印刷]**になっていることを確認して、**[実行]**を押します。



3 **[<] [>]**を押して、印刷する枚数を指定します。
ここでは「1枚」にします。

- **[<]**を押すと数字が減り、**[>]**を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100枚まで指定できます。0枚を指定することはできません。

4 **[<] [>]**を押します。

5 **[<] [>]**を押して、**カットモード**を指定します。

- ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。

カットモードについて詳しくは、25ページをご覧ください。

6 **[実行]**を押します。
印刷が始まります。

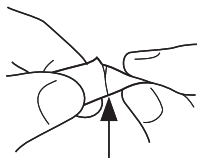
- 印刷を途中でやめるときは、**[取消]**を押します。

ラベルを貼る

1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。

- ハーフカット部分からはがすとき
ハーフカット部分をゆっく
りとひねるようにして、テ
ープを台紙からはがします。



- フルカットされたラベルをはがすとき
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



- ・一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが
残ることがあります。

重要! 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。

- ・直射日光や雨が当たるもの
- ・人や動物の体
- ・他人の家の塀や電柱など
- ・公園・駅など、公共の場所
- ・電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは

- ・表面がざらざらしているところ
- ・表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
- ・特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP 材など）

テープを送りすぎる


印刷する前や印刷した後に、テープを白紙で送ることができます（テ
ープ送り）。


1  と押します。

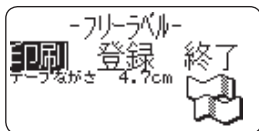
↓
テープが約 21.5mm 送られます。

テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（38 ページ）、印刷が終わっ
ても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープ
をカットしてください。

1  と押して、テープをカットします。

重要!  テープをカットするときは、本機を傾けないでください。
また、テープを引っばったり、カバーを開けたりしないでください。



- 1 上の画面が表示されているときに **◀ ▶** を押して **終了** にし、**実行** を 2 回押します。

以下の画面に戻ります。



- ・「登録」については、46 ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(49 ページ)

- 1 **あア** を何回か押して、画面左上に「R かな」を表示させます。
- 2 **Eい Iい Gせ Yん Oら Uな**
- 3 **変換** を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら **実行** を押します。

■「レポート」を入力します。

- 1 **あア** を何回か押して、画面左上に「R カナ」を表示させます。
- 2 **Rす Eい Pせ Oら ￥? Tか Oら**

- ・誤った文字を入力したときは、**文字削除** (56 ページ) や **後退** (57 ページ) を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- ・文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(48 ページ) をご覧ください。

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。



- ・印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- ・印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。(9 ページ)
- ・印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- ・印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**取消** を押して印刷を中止してください。
- ・テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- ・1 度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

印刷とカットモード

カットモードについて (オートカッター)

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

- 下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

• 自己粘着テープ • 布転写テープ • インスタントレタリングテープ	特殊テープ
• マグネットテープ • 反射テープ • アイロン布テープ	カットしない

■カットのしかたについて

カットのしかたには2つあります。

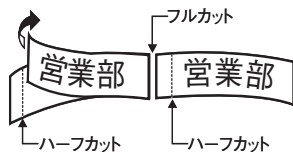
●ハーフカット

台紙はカットしないで、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。

- 「テープ幅の細い3.5mmや6mmテープ」や「薄いメンディングテープ」は、ハーフカットできないことがあります。

●フルカット

台紙もシールもカットします。



■4つのカットモード

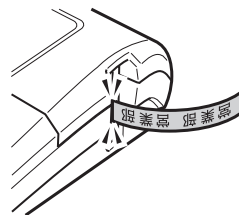
カットモードは4つあります。

- カットモードは、「印刷する」の手順5(22ページ)で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」(27ページ)をご覧ください。
- 書式で「余白 送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。(23ページ)
- テープの長さが下記のとときは、テープカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどで切ってください。

余白小	余白中	余白大
約28mm以下	約35mm以下	約45mm以下

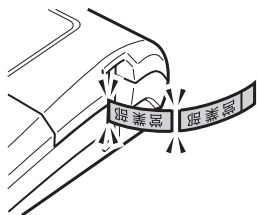
●通常

- ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているので、ラベルがバラバラになることはありません。
- 先頭には余白が付き、はがしやすいようにハーフカットされます。
- すべての印刷が終了すると、フルカットされます。



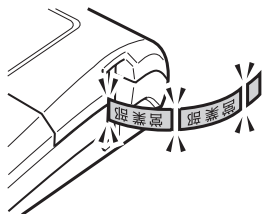
●切り離す

- ラベルごとにフルカットします。
2枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープ詰まりや故障の原因となります。
- 各ラベルの先頭には余白が付き、はがしやすくハーフカットされています。



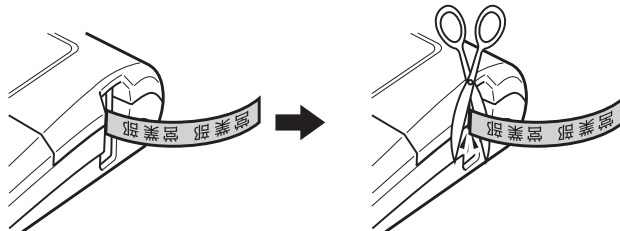
●特殊テープ

- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープに印刷するときに設定します。
- 各ラベルごとにフルカットされます。
- 「余白 小」「余白 中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。



●カットしない

- ラベル間はカットしません。
- マグネット・反射テープ・アイロン布テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、**機能**を押し、指を離してから^{テープ送り}**0**を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープについて
反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープは特殊な処理をしてあるテープです。

カットするときは、フルカット/ハーフカットはしないで、下記の手順に従ってハサミなどをお使いください(アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください)。なお、本機のフルカット/ハーフカットで反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがあります。ご注意ください。

- 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする(38ページ)
またはカットモードで「カットしない」にする
- 印刷する
- 機能** ^{テープ送り}**0** と押し、テープ送りをする
- 反射テープ、マグネットテープまたはアイロン布テープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする
 - ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかた（フルカット／ハーフカット）と余白の長さは異なります。

カットモード		通 常			切り離す			特殊テープ			カットしない		
カットの タイミ ング	余白	先頭の余分な 部分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット	先頭の余分な 部分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット	先頭の余分な部 分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット	先頭の余分な 部分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット
		余白小	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	無し
	余白	16.5mm	3mm	3mm	16.5mm ^{※1} 5mm ^{※2}	3mm	3mm	21.5mm	3mm	3mm	21.5mm	3mm	3mm
余白中	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	無し	無し	無し
	余白	9.5mm	10mm	10mm	9.5mm ^{※1} 5mm ^{※2}	10mm	10mm	21.5mm	10mm	10mm	21.5mm	10mm	10mm
余白大	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	無し	フル カット	フル カット	無し	無し	無し
	余白	5mm	19.5mm	19.5mm	5mm ^{※1} 5mm ^{※2}	19.5mm	19.5mm	—	19.5mm	19.5mm	—	19.5mm	19.5mm
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1：1枚目の印刷のとき

※2：2枚目以降の印刷のとき

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で操作してください。

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ

フリーラベル..... 35 ページ
用途別ラベル..... 29 ページ
ナンバリング..... 31 ページ

登録してある
データ呼び出
して使うときは
(47 ページ)

前回作成した
データを使う
ときは
(14 ページ)

2 文字を入力する (49 ページ)

3 文字を修飾する

書体 (フォント) を変える (60 ページ)、文字を目立たせる (文字体) (62 ページ)

ラベルを印刷 (22 ページ) ・ 登録 (46 ページ) ・ 終了する

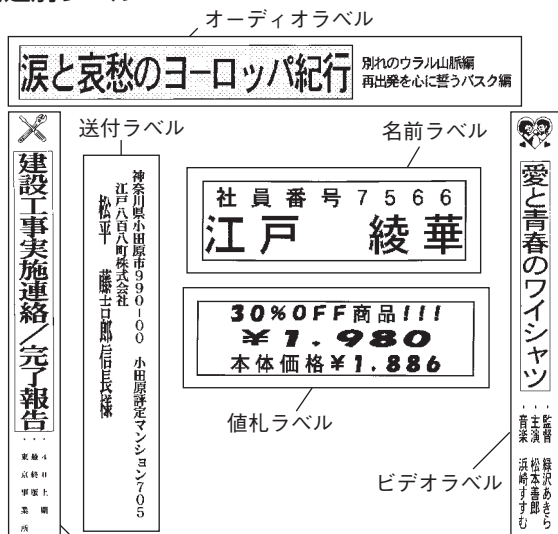
用途に応じて作る

フォーマットを選んで作る (用途別ラベル)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

• ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル



• ビデオラベル・オーディオラベル・名前ラベル・送付ラベル・ファイルラベル・値札ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

【印刷例】



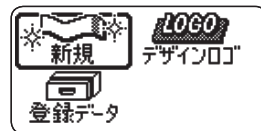
(9mm 幅テープ / ファイル / ファイル背 / 小 3)

重要 79 ページをご覧くださいフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

1 ①を押して、電源を入れます。

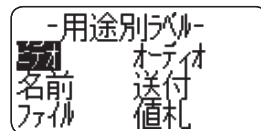
• ご使用の状況によっては、右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されます (14 ページ)。



2 ②を押して「新規」を選び、③を押します。



3 ④を押して「用途別ラベル」を選び、⑤を押します。



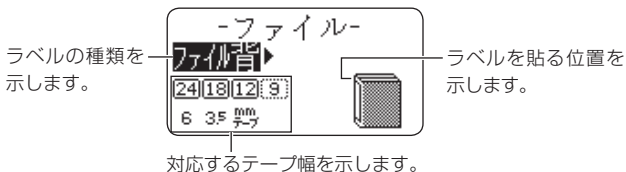
4 を押して作成するラベルの種類を選び、**実行** を押します。

ここでは「ファイル」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。



フォーマット選択画面について

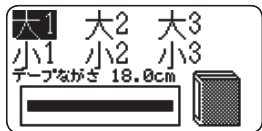
ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。



- …… 使用できるテープ幅は、実線または点線で囲われます。
- …… 最も適したテープ幅は、実線で囲われます。
- …… 使用できないテープ幅は、囲われません。

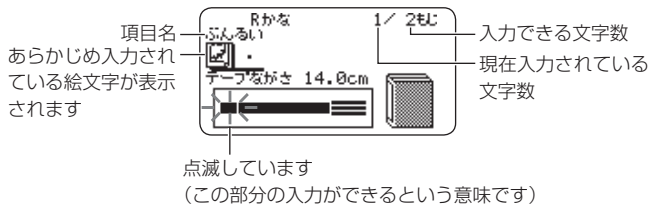
5 を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、**実行** を押します。

ここでは「ファイル背」を選びます。



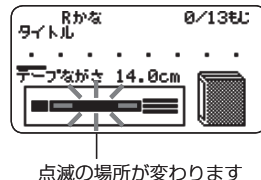
6 を押してフォーマットを選び、**実行** を押します。

詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」(79 ページ) をご覧ください。
ここでは「小3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、**実行** を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、56 ページをご覧ください。



8 文字を入力し、**実行**を押します。

ここでは「タイトル」「コメント1」「コメント2」「コメント3」に入力します。

- 枠が付けられるフォーマットの場合は、**機能**を押し指を離してから**3**を押し、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。



- ラベルデータを印刷するときは→ 22 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 46 ページ

通し番号のついたラベルを作る (ナンバリング)

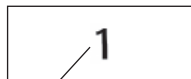
ページ番号や通し番号がついたラベルを作る (連番印刷) ことができます。

重要 3.5mm 幅のテープカートリッジは使用できません。



ナンバリングの種類

• フォーマット 1



ナンバー

• フォーマット 2



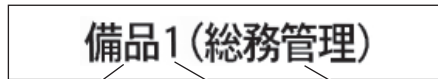
コメント(50文字まで) ナンバー

• フォーマット 3



ナンバー コメント(50文字まで)

• フォーマット 4



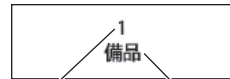
コメント1(50文字まで) ナンバー コメント2(50文字まで)

• フォーマット 5



ナンバー コメント(50文字まで) ナンバー コメント(50文字まで)

• フォーマット 6



- 印刷するたびに、“ナンバー” が一つずつ繰り上がっていきます。
- 上の例は 18mm 幅テープで作成しました。

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に**書式**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

[印刷例]

備品No.15(総務管理)

備品No.16(総務管理)

備品No.17(総務管理)

「備品 No.15 (総務管理)」～「備品 No.17 (総務管理)」のラベルを印刷します。

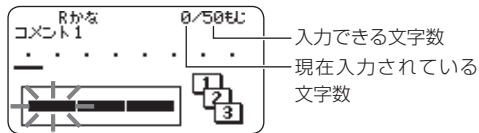
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくなならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、**[取消]**を押して印刷を中止してください。

1 **[入]**を押して、電源を入れます。

2 **[^][v][<][>]**を押して「新規」を選び、**[実行]**を押します。

3 **[^][v][<][>]**を押して「ナンバリング」を選び、**[実行]**を押します。

4 **[^][v][<][>]**を押してフォーマットを選び、**[実行]**を押します。ここでは「4」を選びます。

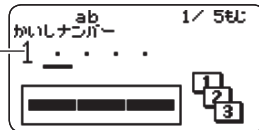


点滅しています
(この部分の入力ができるという意味です)

5 「コメント1」の文字を入力し、**[実行]**を押します。

ここでは「備品」と入力します。

先頭の数字が表示されます

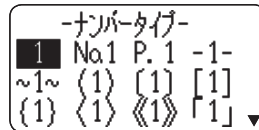


6 ナンバリングの先頭になる数字に変更し、**[実行]**を押します。ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

・先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5桁まで入力できます。

7 「コメント2」の文字を入力し、**[実行]**を押します。

ここでは「(総務管理)」と入力します。



8 **[^][v][<][>]**を押してナンバリングの形を選び、**[実行]**を押します。

ここでは「No.1」を選びます。

9 **[<][>]**で**[印刷]**を選び、**[実行]**を押します。



重要 印刷するときは、24ページの注意事項をご覧ください。



10 ◀ ▶ を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから **実行** を押します。

ここでは、15、16、17番を印刷するので、「3」を設定します。

- ・1～100までを入力できます。
- ・直接数字を入力することもできます。

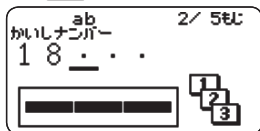


11 ◀ ▶ を押してカットモードを設定し、**実行** を押します。


- ・カットモードについて詳しくは、25ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ・ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。
- ・「長さオーバー 印刷できません」 「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか?」と表示されたときは、72ページをご覧ください。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

重要  テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

- ・ラベルデータを登録するときは→46ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中にお好みで印刷の書式を設定することができます。

- ・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- ・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- ・「余白」の設定をする

上記の設定をするには、文字入力中に **書式** を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

ロゴ入りのラベルを印刷する (デザインロゴ)






オフィス、工場・建設などの現場、家庭などでよく使う表現を選ばず、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。


[印刷例]

秘 重要書類



- ・印刷可能なデザインロゴについては、デザインロゴ一覧 (83ページ) をご覧ください。
- ・デザインロゴを印刷できるのは、12mm、18mm、24mm 幅のテープです。

1  を押して、電源を入れます。

2     を押して「デザインロゴ」を選び、**実行** を押します。
・上記の操作の代わりに  を押しても同じ画面に進めます。

3     を押してグループを選び、**実行** を押します。
ここでは「書類」を選びます。



4   でロゴデータを選びます。
ここでは「**2** 重要書類」を選びます。

5 **印刷完了**を押すと、選択しているロゴのデザインを確認することができます。

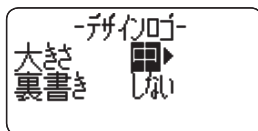
- ・このとき表示されるのは「大きさ 中」で印刷した場合のデザインです。

6 じっくりと見たい部分が出てきたら、**実行**を押して画面を停止させます。

実行を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- ・プレビュー表示を中止するときは、**取消し**を押します。

7 **実行**を押します。



8 **左** **右**を押して、印刷する大きさを選びます。

- ・大きさは「小」「中」「大」の3種類から選べます。
- ・印刷したときのデザインロゴの大きさは下の表のとおりです。
- ・「裏書き」にしたいときには、**下**を押して、**左** **右**で**する**を選びます。

9 **実行**を押します。

10 **左** **右**を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。

重要 印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。



11 **上** **下** **左** **右**で印刷枚数、カットモードを指定します。
・カットモードについて (25 ページ)

12 **実行**を押します。
・印刷が開始されます。

デザインロゴ印刷時の大きさ






(サイズはいずれも 縦 × 横 で記載)

	24mm / 18mm 幅			12mm 幅			9mm 幅 以下
	倍率 (%)		データの大きさ	倍率 (%)		データの大きさ	
	縦	横		縦	横		
小	120	90	12 × 41mm	100	80	10 × 36mm	(不可)
中	120	120	12 × 54mm	100	100	10 × 45mm	(不可)
大	120	150	12 × 68mm	100	120	10 × 54mm	(不可)

自由に入力して作る (フリーラベル)


ここでは自由に入力してラベルを作る (フリーラベル) 方法について説明します。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

- 1 を押して、電源を入れます。
- 2 を押して「新規」にし、を押します。
- 3 を押して「フリーラベル」を選び、を押します。
- 4 自由に文字を入力します。
・フリーラベルの作り方について詳しくは 21 ページをご覧ください。

2 行以上のラベルを作る

2 行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。


重要  3.5mm 幅テープでは、2 行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1 行
6mm	2 行
9mm	3 行

テープの幅	最大行数
12mm	5 行
18mm	6 行
24mm	6 行

- ・テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。
(ジャストフィット印刷)
- ・文字の大きさを自由に決めた場合 (42 ページ) も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

【印刷例】 顧客リスト (18mm 幅テープ)
最新版

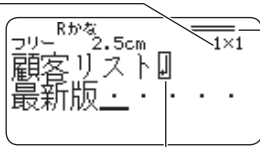
- 1 1 行目を入力します。
ここでは「顧客リスト」と入力します。
- 2 を押します。

3 2行目を入力します。

ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。

改行マークが入ります
(画面だけの印なので印刷されません)



作っているラベルのレイアウト(イメージャー表示)線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージで表します。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、**↵**を押します。
- 改行を取り消すときは、**文字削除**を押してマークを削除します。**後退**を押しても**□**マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/6」というような表示になります。これは、「行数は6行で、カーソルが合っているのは5行目」という意味です。
微小フォントでの印刷について→43ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー 印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→22ページ
- ラベルデータを登録するときは→46ページ

こんなラベルを作るには？

顧客リスト最新版
営業部



顧客リスト最新版
営業部

文字の大きさを決めます
(42ページ)

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール(書式)で作るのかを決めます。

■設定できる内容

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 方向 縦
文字割付	文字のバランスを決めます。 →41ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ(間隔)を決めます。 文字間隔 文字間隔
裏書き	裏書き <ul style="list-style-type: none"> • 布転写テープカートリッジ(別売)を使用してハンカチやTシャツなどにアイロンプリントするときに設定します。 アイロン布テープ(別売)を使用してアイロンプリントするときには、裏書きの設定は必要ありません。 • テープ色が透明なテープカートリッジ(別売)を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選びます。 →38ページ参照
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。 →39ページ参照

■設定する（フリーラベルの場合）

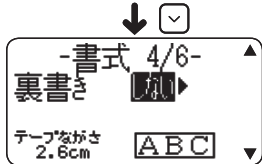
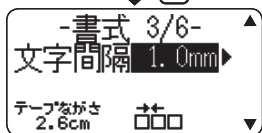
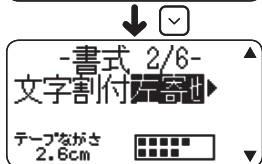
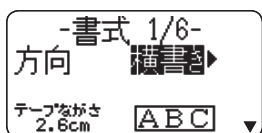
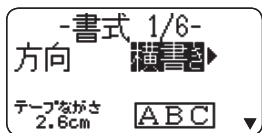
1 文章を入力します。

2 **書式**を押します。

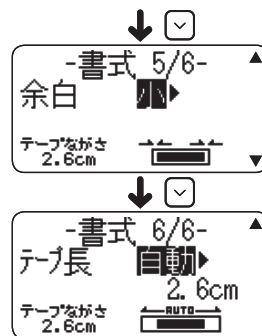
3 各項目を設定します。

- **↑** **↓**を押して設定項目を選びます。
- **←** **→**を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内 容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	文字のバランス（左寄せ／均等／中寄せ／右寄せ）を設定する → 41 ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔（0.0～31.9mm）を指定する （ ← → を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる） • 「文字割付」を「均等」、「テープ長」を「固定」とした場合は、文字間隔の指定はできません。
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ



余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選ぶ
テープ長	<ul style="list-style-type: none"> • 自動：文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する • ラベル全体の長さを任意に設定するときは、← →を押して「固定」を選ぶ → 39 ページ



4 各項目を設定したら、**実行**を押します。

■設定する（用途別ラベル、ナンバリングの場合）

1 文章を入力します。

2 **書式**を押します。

3 **←**または**→**で、「方向」「裏書き」または「余白」を選び、**実行**を押します。

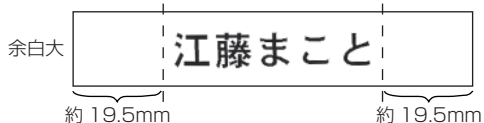
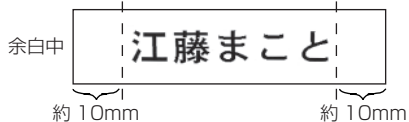
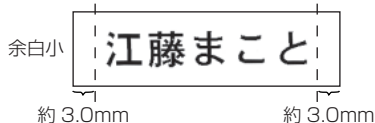
- 用途別ラベルでは「余白」を選ぶことはできません。


4 **←**または**→**で、お好みの項目を選び**実行**を押します。

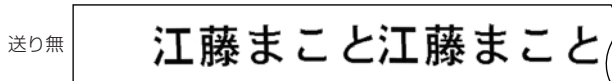
余白について

ラベルの前後に付くスペースを余白といいます。

次の3種類の余白を選べます。



重要  テープの長さが短い（余白小のとき：約 28mm 以下、余白中のとき：約 35mm 以下、余白大のとき：約 45mm 以下）場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。



- ・「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- ・「送り無」と設定したときは、テープは自動的にカットされません。テープをカットするときは、**機能** を押し、指を離してから **9** テープカット を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

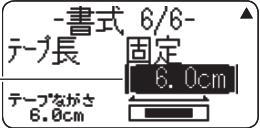
ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の2つがあります。

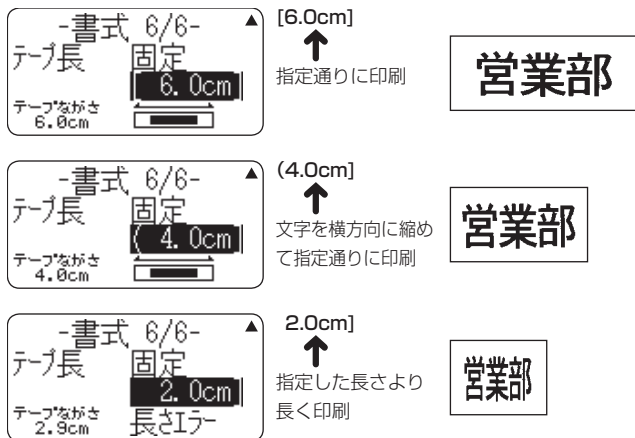
- ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）。
 - CD・DVD・VHS用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する（テープ長さダイレクト設定キー）。
- ・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さとは一致しません。

ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）

- 1 文字を入力します。
- 2 **書式**を押します。
- 3 **↑****↓**を押して、「テープ長」を画面に表示させます。
- 4 **←****→**を押して、「テープ長 **固定**」にし**↓**を押します。
数値が反転します 
- 5 数値キーまたは**←**（減）・**→**（増）を押して、ラベルの長さを設定します。

・直接数字を入力することもできます。

・テープ長さを入力されている文字により、次のようになります。



Example 1: Screen shows 'テープ長 固定 6.0cm'. Printed label is '営業部' with a length of [6.0cm].

Example 2: Screen shows 'テープながさ 4.0cm'. Printed label is '営業部' with a length of [4.0cm]. Text is compressed horizontally.

Example 3: Screen shows 'テープながさ 2.0cm 長さエラー'. Printed label is '営業部' with a length of [2.0cm]. Text is shorter than the specified length.

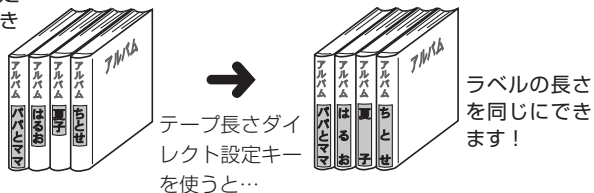
* 文字が印刷方向に50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

- 6 **実行**を押します。

CD・DVD・VHS 用のラベルなどを簡単に設定する (テープ長さダイレクト設定キー)

テープ長さダイレクト設定キーを使えば、CD や DVD のケース、VHS ビデオテープ用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

長さを設定
しないとき



ラベル作成編
ラベルの長さを自由に決める

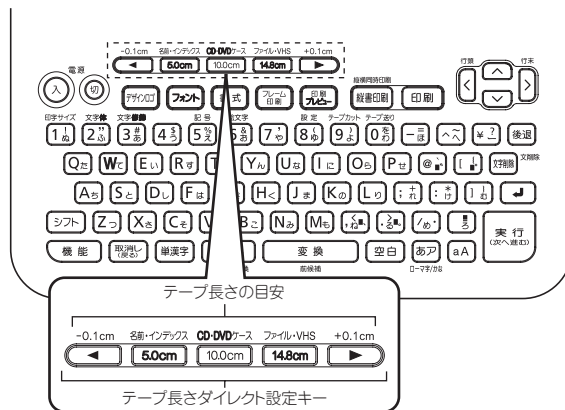


- テープ長さダイレクト設定キーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、「文字割付：均等」に設定されます。
- フリーラベル以外では、テープ長さダイレクト設定キーは無効となります。

設定できる長さ

テープ長さダイレクト設定キー	適したもの
14.8cm	VHS ビデオテープの背ラベル・ペーパーファイル・バインダーなど
10.0cm	CD・DVD ケースなど
5.0cm	名前シール・インデックスなど

- 1mm 単位で長さを調整することもできます。



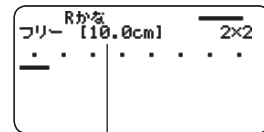
設定する

【例】 CD・DVD ケース用のラベルの長さを設定する

1 **10.0cm** を押します。

+0.1cm ▶ を押すと長くなり、◀ -0.1cm を押すと短くなります。

- 文字入力にはラベルの長さを設定する前でも設定したあとでも構いません。



長さが 10.0cm に変わります。

文章のバランスを整える（割付）

文字や文章のバランスを整えることができます。

左寄せ

江藤まこと

均等

江 藤 ま こ と

中寄せ

江藤まこと

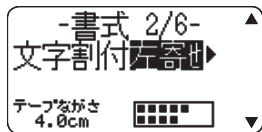
右寄せ

江藤まこと

1 文字を入力します。

2 を押します。

3 を押して、「文字割付」の設定画面にします。

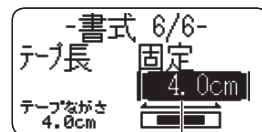


4 を押して、希望の割付の種類を表示させます。

を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

5 を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

6 を押して、「テープ長 **固定**」にし、を押します。



数値が反転します

7 数値キー、または (減)・ (増) を押して、希望の数字（ラベルの長さ）にし、を押します。

元の長さより長い数値にします。

2行以上の文章のときは、「テープ長 自動」を選んでも、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです（ジャストフィット印刷）。

ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

文字単位で「1 × 1」～「4 × 4」倍まで自由に文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります（テープ幅と行数・倍率一覧 82 ページ）。

1 × 1

禁煙

2 × 3

禁煙

4 × 4

禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。例えば、1 × 2 と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます（上の印刷例はすべて横書きで作成しています）。

1 × 2（横書き）

1 × 2（縦書き）

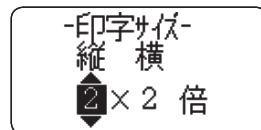
終日禁煙

終日禁煙

【例】 「終日禁煙」の「終日」を 1 × 3 にする

1 文字を入力します。

2 を押し、指を離してから を押します。



3 を押して、「縦」の倍率を設定します。

- ここでは縦倍率を「1」にします。
- 直接数字を入力することもできます。
- 不適切な倍率は入力できません。

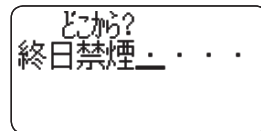
4 を押して、「横」の倍率数値を反転させます。

- 数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。



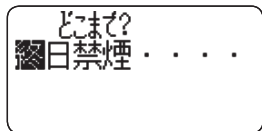
5 を押して「横」の倍率を設定し、 を押します。

ここでは横倍率を「3」にします。



6 **<** **>** を押して大きさを定める最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。

ここでは「終」を指定します。



7 **<** **>** を押して大きさを定める最後の文字を選び、**実行** を押します。

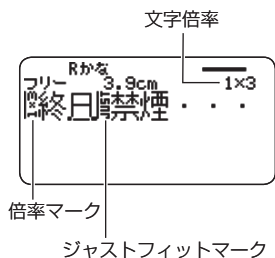
ここでは「終日」にします。

文字倍率：カーソルが合っている文字の大きさを表します。

倍率マーク：印刷される文字の大きさを表します。

ジャストフィットマーク：

自動的に付きます。このマークより後ろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。



- 倍率マークやジャストフィットマークは画面には表示されませんが、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを**文字削除**で削除します。
- 倍率マークを削除した場合、文字サイズはテープ幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。

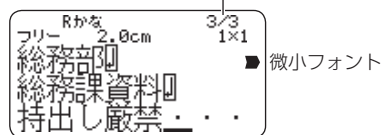
文字の大きさ 1×3 ジャストフィット印刷



微小フォントについて

- 行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります。
- このとき、画面右の「**微小フォント**」が点灯します。
- フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。

イメージャー表示



- イメージャー表示については、「2 行以上のラベルを作る」の手順 **3** (36 ページ) をご覧ください。
- 微小フォントでは、次のような特徴があります。
 - フォントの設定は、無効です（すべて同じフォントで印刷されます）。
 - 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
 - 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームを付ける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームを付けることができます。
フレームの一覧は 78 ページをご覧ください。

重要 3.5mm 幅テープにフレームを付けることはできません。




[印刷例]



1 文字を入力します。


2  を押します。

3     を押して使うフレームを選び、 を押します。
ここでは  を選びます。




4   で  を選び、 を押します。

重要 印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。



5 数字キー（または   ）を押して印刷枚数を設定し  を押します。

1 ~ 100 枚まで設定できます。

6   を押してカットモードを設定し  を押します。
印刷が開始されます。

- カットモードについて（25 ページ）
- 「文字修飾」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅	6mm 幅
フレーム印刷できる行数	4 行以内	3 行以内	2 行以内	1 行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（22 ページの手順 1 の画面）表示中に **縦書印刷** を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷



縦横同時印刷



縦書き（1 枚目）、横書き（2 枚目）がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、**縦書印刷** や **機能** **縦書印刷** は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面（37 ページ）で「縦書き」を設定してください。

1 文字を入力します。

2 **縦書印刷** を押します。
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、**機能** を押し、指を離してから **縦書印刷** を押します。

重要 印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。

3 数字キー（または **<** **>**）を押して印刷枚数を設定し、**>** を押します。
1 ~ 100 枚まで設定できます。

4 **<** **>** を押してカットモードを設定し、**実行** を押します。
印刷が開始されます。

・カットモードについて（25 ページ）

■「平成 20 年 12 月」、「'08 年 12 月」などのラベルの作り方

[印刷例]



- 「20」や「'08」などは、記号一覧（75 ページ）の記号を使用すると、上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、55 ページをご覧ください。

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。

登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

データに名前を付けて登録します。

データは 10 件まで登録できます。

文字の入力が完了すると右の画面が表示されます。

印刷 登録 終了

1 を押して **登録** を選び、 **実行** を押します。

2 登録名を入力し、**実行** を押します。

登録名は 7 文字まで入力できます。

・登録名はデータを呼び出すときに使います。

3 を押して登録する場所を選びます。

・まだデータが登録されていない場所は、「未登録」と表示されます。

4 **実行** を押します。

・「よろしいですか?」と表示されます。

5 **実行** を押します。

「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録したデータを呼び出す

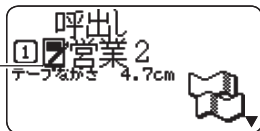
登録したデータは、作成方法画面（21 ページの 1 の画面）から呼び出します。




- 1     を押して「登録データ」を選び、 を押します。



- 2   を押して  を選び、 を押します。

登録名が表示されます



- 3   を押して呼び出したいデータの登録名を探し、 を押します。

データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

登録したデータを削除する

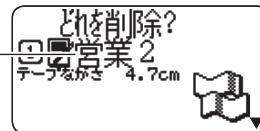
登録したデータは、作成方法画面（21 ページの 1 の画面）から削除することができます。




- 1     を押して「登録データ」を選び、 を押します。





- 2   を押して  を選び、 を押します。

登録名が表示されます



- 3   を押して削除したいデータの登録名を探し、 を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

- 4  を押します。

- ・手順 1 の画面が表示されます。
- ・データ削除の操作をやめるときは  を押します。

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、文字修飾の指定についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している **_** をカーソルといいます。カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



	左にカーソルが移動する		上にカーソルが移動する
	右にカーソルが移動する		下にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから を押す	行の先頭にカーソルが移動する	機能 を押し、指を離してから を押す	行の最後にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから を押す	文の先頭にカーソルが移動する※	機能 を押し、指を離してから を押す	文の最後にカーソルが移動する※

※フリーラベルでのみ有効です。

スクロールとは

画面にかくれている文字を見るためには、 を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。
(を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

ローマ字入力?それともかな入力?

キーを押して文字を画面に表示させることを、**入力**といいます。
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

●ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字読みでひらがななどを入力する方法です。

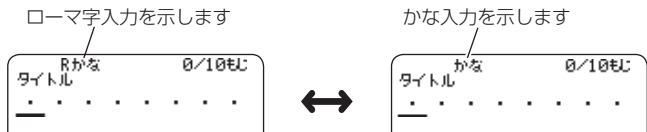
●かな入力とは…

直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り換える

機能を押し、指を離してから**あア**を押す
ローマ字/かな



・「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず**あア**を押して、「Rかな」または「かな」を表示させます。
ローマ字/かな

「設定」で切り換えるには

- 1 **機能**を押し、指を離してから^{設定}**8**を押します。
- 2 **^****∨**を押して「入力設定」を選び、**実行**を押します。
- 3 **^****∨****<****>**を押して「かな」または「ローマ字」を選び、**実行**を押します。

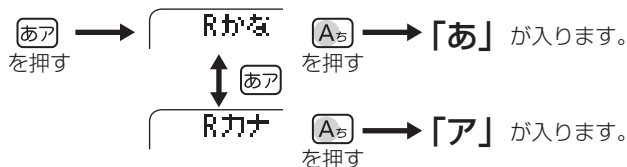
入力する文字の切り替え方法

文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。
あアや**aA**を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。

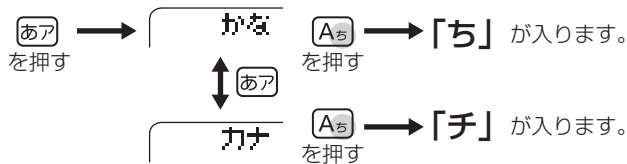
ここでは**Aち**を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力

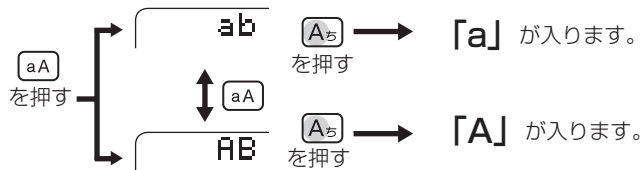
■ローマ字入力の場合



■かな入力の場合



アルファベット (大文字・小文字) の入力



入力・編集編
入力する文字の切り替え方法
ローマ字入力?それともかな入力?

ひらがな・カタカナの入力

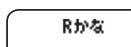
ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

【例】 さくら

1 **あ**を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

- かな入力のときは、「かな」を表示させます。(49 ページ)



2 **S**と**A**ち**K**の**U**な**R**す**A**ちと押します。

- かな入力のときは、**X**さ**H**く**O**らと押します。



ひらがなを入力している最中は、
■が文字に重なっています

3 **無変換**または**実行**を押します。

「さくら」が確定します。



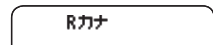
- 「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

【例】 サクラ

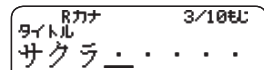
1 **あ**を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

- かな入力のときは、「カナ」を表示させます。(49 ページ)



2 **S**と**A**ち**K**の**U**な**R**す**A**ちと押します。

- かな入力のときは、**X**さ**H**く**O**らと押します。



カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する（カタカナ変換）

【例】 サクラ

- ひらがなで「さくら」と入力します。
- さくら**となっているときに、**機能**を押し、指を離してから**無変換**を押します。
カタカナ変換
さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	Iに Tか Tか Aち	Eい シフト Zっ Qた *
拗音	きょう	Kの Yん Oら Uな	Gき シフト 9よ 4っ *
濁音	ぼく	Bこ Oら Kの Uな	ーほ @っ Hこ
半濁音	ぱぱ	Pせ Aち Pせ Aち	Fは [っ] Fは [っ]
句点	。	・る	シフト ・る
読点	、	・ね	シフト ・ね
長音	ー	¥?	¥?
中点	・	シフト /め	シフト /め
を		Wて Oら	シフト Oを
ん		Nあ Nあ	Yん
ヴ		「Rカナ」表示のときに[Vひ Uな]	「カナ」表示のときに[4っ @っ]
カ		Xさ Kの Aちまたは Kの シフト Aち	シフト Tか
ケ		Xさ Kの Eいまたは Kの シフト Eい	シフト :*け
空白		空白	空白

* [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと小文字（促音・拗音）になりますが、「つやゅよあいう」など促音・拗音にすることができる文字に限ります。

- ・ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」（74ページ）をご覧ください。
- ・.（カンマ）.（ピリオド）の入力方法については、54ページをご覧ください。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します（例：「花」→「はな」）。

ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、**[実行]**を押して、他の文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- ・文章を入力してから変換する
- ・同音異義語を変換する（例：公園、後援など）
- ・漢字1文字分ずつ変換する（当て字や難しい固有名詞などの変換）

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

【例】 今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。



2 [変換]を押します。

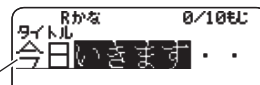
「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」



「境域」に下線が付いていますと変換されます。

3 [<]を2回押します。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。



「今日」に変換されます

漢字1文字ずつ変換する（単漢字変換）

当て字や難しい固有名詞などを変換するときは、1文字ずつ目的の漢字に変換します。

【例】 敦廣（あつひろ）

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。



2 **変換**を何回か押します。
何回押しても、「敦廣」に変換されません

3 **単漢字**を押します。

- もう一度**単漢字**を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。
- もう一度**単漢字**を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。



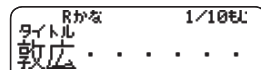
「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 **△▽◀▶**を押して、**敦**にします。



5 **実行**を押します。

「敦」が確定されます。



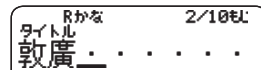
「広」に下線が付きませ

6 **変換**を何回か押して、「廣」にします。

- **単漢字**を押して「廣」を探すこともできます。

7 「廣」になっていることを確かめて、**実行**を押します。

「廣」が確定されます。



思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- 「週（しゅう）」を「しゅう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している
- 「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
- 「社食（しゃしょく）」「道交法（どうこうほう）」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- 「あ」「い」「う」「え」「お」「や」「ゆ」「よ」の拗音
- 「っ」の促音
- 「ず」と「づ」
- 「じ」と「ぢ」
- 「お」と「う」

アルファベット・数字・記号・ 絵文字の入力

アルファベット、数字、記号、絵文字の入れ方を説明します。

アルファベットの入力

【例】 AKI

1 **[aA]**を何回か押して、画面の左上に「a b」または「A B」を表示させます。

ab：小文字を入力するとき

AB：大文字を入力するとき



2 **[Aa]****[Kk]****[Ii]**と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。

•カンマ (,) ピリオド (.) を入力するには

画面の左上に「A B」または「a b」と表示されているときに、次のキーを押します。

カンマ：**[,]** ピリオド：**[.]**

•大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには

「A B」表示のとき……**[シフト]**を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

例 TAKESHI'S

「a b」表示のとき……**[シフト]**を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例 English

数字の入力

【例】 123

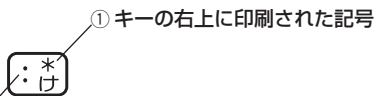
■かな入力するとき

1 **[aA]**を押して、画面の左上に「a b」または「A B」を表示させます。

• ローマ字入力の場合は、手順1の操作は不要です。

2 **[1]****[2]****[3]**と押します。

記号（キーに印刷されているもの）の入力



② キーの左に印刷された記号

■ローマ字入力の場合

- ① を押すと → 「:」が入ります。
- ② を押し、指を離してから を押すと → 「*」が入ります。

■かな入力の場合

- ① → → を押すと → 「:」が入ります。
または を押すと
- ② → を押し、指を離してから を押すと → 「*」が入ります。
または を押すと

記号（その他の記号）の入力



記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」「診療科目」の7つのグループに分かれています。75ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

【例】 (グループ=単位・略)

1 を押し、指を離してから を押します。



2 を押して にし、を押します。

3 を押して にし、を押します。

絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は20のグループに分かれています。

76～77ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。

また、文字体の指定は無効です。

【例】  (グループ=食べ物)

1  を押し、指を離してから   を押します。



2  を押して「食べ物」にし、 を押します。

3  を押して  にし、 を押します。

文字を修正・削除するときは



文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

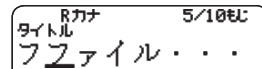
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

文字を1文字ずつ消す

■カーソルの上の文字を消す

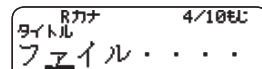
【例】 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1  を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



2  を押します。

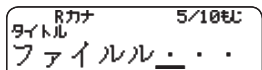
「ファイル」になります。



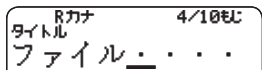
■カーソルの前の文字を消す

【例】 「ファイル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

- 1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



- 2 **後退**を押します。
「ファイル」になります。



確定前に文字を消すには…

ふいあいるなど、文字に \blacksquare が重なっているとき（確定前）に文字を消すときも、**文字削除**または**後退**を押して消します。また、**取消し**を押すと、 \blacksquare が重なっている文字がすべて消えます。

確定→51 ページ

すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

- 1 **機能**を押し、指を離してから^{文削除}**文字削除**を押します。

「削除しますか?」と表示されます。

- 文削除をやめるときは、**取消し**を押します。
フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで**実行**を押します。

- 2 **実行**を押します。

- 画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す（フリーラベルのみ）

消したい部分の始めと終わりを指定して消す方法です。

【例】 「あおきおさむ」を「おさむ」にする

- 1 **機能**を押し、指を離してから^{文削除}**文字削除**を押します。

- 2 **<>**を押して**部分削除**を選び、**実行**を押します。






操作をやめるときは**取消し**を押します。

どこから?
あおきおさむ...

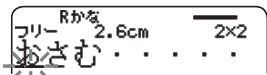
- 3 **^v<>**を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。

どこまで?
あおきおさむ...

4     を押して消したい部分の最後の文字を指定し、 を押します。

ここでは「あおき」にします。



間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

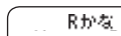
挿入：文字と文字の間に新しい文字を追加できます。

上書き：表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。

■「上書き」にすると

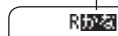
 を押し、指を離してから  を押します。



<挿入>



<上書き>



反転します

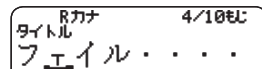


もう一度  を押し、指を離してから  を押すと、「挿入」状態に戻ります。

【例】 「フェイル」を「ファイル」に直す

■間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）



1   を押して「エ」にカーソルを合わせます。

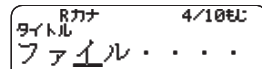


2  を押します。

「エ」が削除され、「イ」が「エ」の位置に移動します。

3 「ア」を入力します。

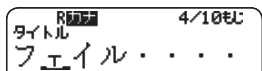
・「ア」は  を押し、指を離してから  を押して入力します。



「ア」が「イ」の前に入力されます

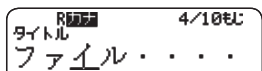
■間違った文字の上に正しい文字を入力する（「上書き」状態）

- 1 ◀ ▶ を押して「エ」にカーソルを合わせます。



- 2 「ア」を入力します。

「エ」が「ア」になります



- ・直す文字数よりも入力する文字数が多いと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。ご注意ください。

「設定」で切り換えるには

- 1 **機能** を押し、指を離してから **設定** (8) を押します。
- 2 ◀ ▶ を押して「入力設定」を選び、**実行** を押します。
- 3 ◀ ▶ を押して「上書き」または「挿入」を選び、**実行** を押します。

確定前に文字を直したり追加するには…

ぶえいる など、文字に **■** が重なっているとき（確定前）に文字を直したり追加するときも上と同じ操作で直します。

確定→51 ページ

書体（フォント）を変える

入力済みの文字の形（書体）を、和文 2 書体・英数 4 書体の中から選ぶことができます。

また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明しています。

■和文書体

明朝体	ゴシック体
亜あ	亜あ

■英数書体

明朝体	ゴシック体
AB12	AB12
ステンシル	ポップ
AB12	AB12

・メモリーの初期化をすると、「和文：明朝体」「英数：和文と同じ」に設定されます。

- ・英数書体は、次の文字が指定の対象になります。
 - ・アルファベット（A～Z a～z）
 - ・数字（1 2 3 4 5 6 7 8 9 0）
 - ・記号の一部（. , ? ! ~ () ¥ % スペース）

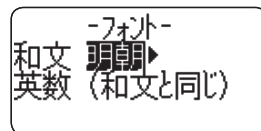
入力済みの文字の書体を変える

ヒーリングMUSIC集

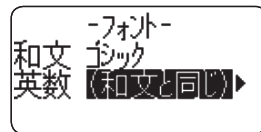
【例】（「ヒーリング」「集」をゴシック体に、「MUSIC」をステンシルにする）

1 文字を入力します。

2 **フォント**を押します。

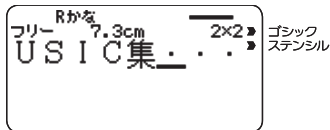


3 **<>**を押して**ゴシック**を選び、**✓**を押します。
（和文書体の種類を選びます。）



4 **<>**を押して**A ステンシル**を選び、**実行**を押します。
（英数書体の種類を選びます。）

設定後、文字入力画面に戻ります。

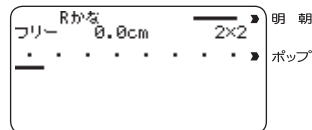


電源を入れたときの書体を決める

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8** を押します。
- 2 **↑** **↓** を押しして **初期フォント** にし、**実行** を押します。
- 3 **↑** **↓** を押しして和文フォントを選んだ後、**←** **→** を押ししてフォント名を選びます。
- 4 **↑** **↓** を押しして英数フォントを選んだ後、**←** **→** を押ししてフォント名を選びます。
- 5 **実行** を押します。
- 6 **切** を押しして一度電源を切り、再び **入** を押しして電源を入れます。
- 7 文字入力画面を表示させます。
文字は指定したフォントで入力できます。
 - ・「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について

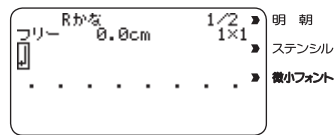
- ・入力中の文字の書体を **■** で示します。



- ・英数書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

微小フォントについて

印刷するときは行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右に「微小フォント」の **■** が点灯します。



微小フォントには、次のような特徴があります。

- ・フォントの設定は無効です。（すべて同じフォントで印刷されます）
- ・文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- ・絵文字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。

・絵文字は、文字体の指定はできません。

標準

太字

住所録

住所録

白抜

影付

住所録

住所録

立体

住所録

1 文字を入力します。

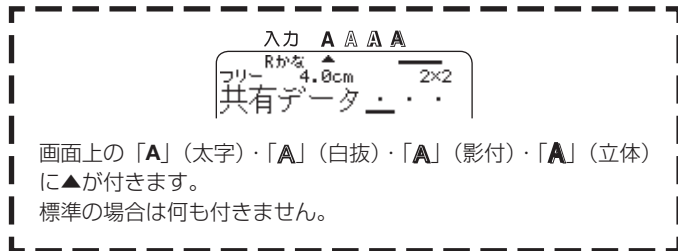
2 **機能** を押し、指を離してから **2** ^{文字体} を押します。



3

◀ ▶ ◂ ◃ を押しして文字体の種類を選び、**実行** を押します。

- ・ **A 標準** を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。
- ・ 設定後、文字入力画面に戻ります。



文字に飾りをつける

文字に網を掛けることや、下線や枠を付けることができます。

網掛	下線	枠付
修飾	修飾	修飾

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **文字修飾** (3#あ) を押します。

3 **^** **✓** を押して文字修飾の種類を選びます。

- ・用途別ラベルの文字修飾が指定できるフォーマットでは、「枠付」の「あり」「なし」を選ぶ画面が表示されます。「網掛」「下線」を選ぶことはできません。



4 **<** **>** を押して手順 3 で選んだ文字修飾の「なし / あり」を選び、**実行** を押します。

・設定後、文字入力画面に戻ります。

文字修飾を重ねることもできます

特売

網掛+枠付

特売

網掛+下線

- ・ただし、文字の大きさによっては、文字や修飾が重なって印刷されることがあります。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に^{設定}機能⁸を押し、指を離してから^{設定}8を押すと、右の画面が表示されます。

↑ ↓ で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。



・電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目	内容	ページ	
入力設定	挿入 / 上書き	文字の入力方法を定める	58
	ローマ字入力 / かな入力	日本語の入力方法を定める	49
輝度調整	画面の濃淡を調整する	64	
印刷濃度	印刷の濃さを調整する	64	
初期フォント	入力文字の最初の書体を定める	61	
デモ印刷	ラベルの印刷例を印刷する	65	

画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ（コントラスト）を調整することができます。

1 ^{設定}機能⁸を押し、指を離してから^{設定}8を押します。

2 ↑ ↓ を押して**輝度調整**を選び、**実行**を押します。

3 < > を押して明るさを調整し、**実行**を押します。

< を押すごとに薄く、> を押すごとに濃くなります。



印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 ^{設定}機能⁸を押し、指を離してから^{設定}8を押します。

2 ↑ ↓ を押して**印刷濃度**を選び、**実行**を押します。

3 ◀▶を押して濃さを設定し、**実行**を押します。

1にすると1番薄く印刷され、5にすると1番濃く印刷されます。



- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

サンプルデータを印刷する（デモ印刷）

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることができます。

重要 デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。（データの登録→46ページ）

1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。
・テープカートリッジについて→15ページ

2 電源が入っているときは**切**を押して電源を切ります。

3 **入**を押して電源を入れます。

4 **機能**を押し、指を離してから**8^{設定}**を押します。

5 **上****下**を押して**デモ印刷**を選び、**実行**を押します。

6 ◀▶を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。

重要 印刷するときは、24ページの注意事項をご覧ください。

7 「枚数 1枚」「カットモード 通常」になっていることを確認します。

- 印刷枚数やカットモードを変更することもできます。25ページ「印刷とカットモード」をご覧ください。
- 特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。（25ページ）

8 **実行**を押します。
・印刷が始まります。
・セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

9 印刷が終了したら◀▶を押して**終了**を選び、**実行**を押します。
「終了しますか？」と表示されます。

10 **実行**を押します。

付 録

電源について

本機を使うときは、電源として付属の AC アダプターの他に、市販のアルカリ乾電池を使うことができます。

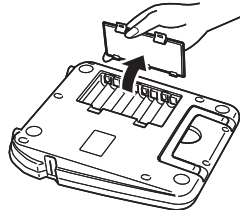
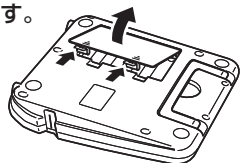
• ご使用前に、「安全上のご注意」(1～5 ページ) を必ずご覧ください。

乾電池で使う

市販の単 3 形アルカリ乾電池を 8 本使用します。(故障の原因になりますので、必ずアルカリ乾電池をご使用ください。)

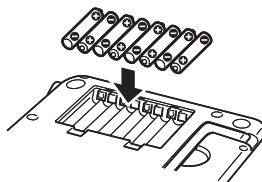
1 本体裏側の乾電池カバーを取り外します。

乾電池カバーに無理な力(逆に曲げるなど)を加えないでください。故障の原因となります。

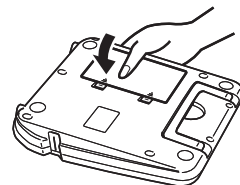


2 乾電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



3 乾電池カバーを取り付けます。



- アルカリ電池が消耗した状態で使用すると、印刷中に電源が切れることがあります。付属の AC アダプターでお使いになることをおすすめします。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境に戻してからご使用ください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや乾電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「AC アダプターから電池に切り替えるとき」「電池から AC アダプターに切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに切り替えをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。

電池寿命について


標準印刷条件で、18mm テープカートリッジ約 2 巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字や画像を印刷した場合、低温下で使用した場合、電池をセットしたまま長期間保管した場合は、電池寿命は短くなります。
- 本機をご使用にならない場合も、2年に1度は必ず乾電池を交換してください。

お手入れの方法


プリンターヘッドやゴムローラーが汚れていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順に従って、プリンターヘッドやゴムローラーを掃除してください。

綿棒できれいにする

重要  ・プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などの柔らかいものをお使いください。また、綿棒は極細タイプをおすすめします。

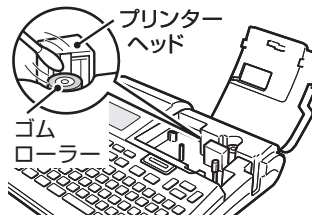
1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

重要  ・印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。

2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面を拭きます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的に拭いてください。



- ・ゴムローラーは、**機能** を押し、指を離してから **0** テープ送りの を押すと回転します。
- ・市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ (XR-24CLE) を使うこともできます。

1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

・「綿棒できれいにする」の手順1の注意事項をお読みください。

2 クリーニングテープを本機に装着します。

3  を押して電源を入れます。

4 **機能** を押し、指を離してから **0** テープ送りの を押して、1～2回「テープ送り」をします。

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう

柔らかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。




本体を傷付けるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。


こんなときは (トラブルシューティング)


本機がうまく動かないときには、次の対処方法に従ってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、「メモリーの初期化」(13ページ)をしてください(メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要なデータはノートなどに控えを取ってください)。それでも解決できない場合は、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、最寄りの本機取扱店、もしくはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● (入) を押し ても何も表示 されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。(64ページ)
	ACアダプターがきちんと接続されていない	ACアダプターを正しく接続してください。(12ページ)
	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	付属のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
	乾電池が正しくセットされていない	正しくセットし直してください。(66ページ)
● 正しく終了 するが何も 印刷されない	プリンターヘッドが高温になっている	しばらく時間をおいてからお使いください。
	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● 印刷が不鮮 明になった ● 印刷がきれ いにできな い ● 印刷が薄い	プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している	クリーニングをしてください。(67ページ)
	インクリボンのたるみによるしわが発生した	インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。(15ページ)
	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
	乾電池が消耗している	付属のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
● 印刷されな い ● 印刷中に電 源が切れる	乾電池が消耗している、または、指定以外のACアダプターや乾電池を使用している	付属のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
	プリンターヘッドが高温になっている	しばらく時間をおいてからお使いください。
● 文字が入力 できない	機能 を押した状態になっている	取消し を押して、文字が入力できる画面にします。
● 目的の漢字 に正しく変 換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「ょ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	あア を押して変更してください。(49ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
●  などの機能キーを押しても画面が変わらない	ひらがなに■が重なっている 例 あか 漢字に下線がついている 例 赤	ひらがなや漢字は必ず確認してください。■が重なっていたり下線がついていたりすると(確定前)、他の機能が使えません。
●  を押してもテープが出てこない	テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない	カバーをしっかりと閉めてください。(9 ページ)
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ (別売) に交換してください。(15 ページ)
	テープが詰まっている	テープカートリッジを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。(15 ページ) 重要  印刷中に、次のようなことはしないでください。 <ul style="list-style-type: none"> • テープ出口をふさぐ • 出てくるテープに触る • テープカートリッジ収納部のカバーを開ける • 電源を切る
乾電池が消耗している		付属の AC アダプターをご使用になるか、新しい単 3 形アルカリ乾電池 (別売) と交換してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● インクリボンがテープと一しょにテープ出口から出てきた	インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻き取ってください。そのあと正しくセットし直してください。(15 ページ) 重要  <ul style="list-style-type: none"> • テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみを取ってください。 • インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ (別売) に交換してください。
● テープが切れない	テープカッターが摩耗している	カシオテクノ修理相談窓口にご連絡して交換してください。(95 ページ)
	テープ出口にテープが詰まっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったラベルを取り除いてください。
	書式の余白が、「送り無」に設定されている	「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定してください。(38 ページ)
	カットモードを「カットしない」に設定している	「カットしない」以外に設定してください。(25 ページ)
	ラベルの長さが短い (余白小で約 28mm 以下 余白中で約 35mm 以下 余白大で約 45mm 以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● ハーフカットができない	ハーフカッターが摩耗している	カシオテクニク修理相談窓口に連絡して交換してください。(95 ページ)
	カットモードを「特殊テープ」「カットしない」に設定している	カットモードを「通常」または「切り離す」に設定してください。(25 ページ)
	マグネットテープを使用している	マグネットテープはハーフカットされません。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。 重要  マグネットテープ、反射テープ、アイロン布テープは、カットモードを「カットしない」にして印刷してください。また、自己粘着テープ、布転写テープ、インスタントレタリングテープは、「特殊テープ」にして印刷してください。(26 ページ)
	ラベルの長さが短い (余白小で約 28mm 以下 余白中で約 35mm 以下 余白大で約 45mm 以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
● ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。(23 ページ)
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油が付いているもの、汚れているものなどには貼れません。(23 ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
● ラベルの余白が大きい	書式の余白が「余白大」「余白中」に設定されている	「余白小」または「送り無」に設定し直してください。(38 ページ) (本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白が入ります)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
該当候補なし	<ul style="list-style-type: none"> 単漢字変換で候補の漢字がない場合 → 取消 を押して違う読みを入力してください。 	53
行数オーバー印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> 印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 → 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	35、82
行数オーバーフレーム付きで印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 → 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	44
作成中の内容が失われますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> 文章を消して操作を進める場合 → 実行 を押してください。 文章を消したくない場合 → 取消 を押してからその文章を登録してください。 	46
指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 → 実行 を押してください。 印刷しない場合 → 取消 を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を自動にする」などの操作をしてください。 	39
数字を入力してください	<ul style="list-style-type: none"> ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 → 数字を入力してください 	31

メッセージ	原因と対処	参照ページ
前回正しく終了されなかった可能性があります	<ul style="list-style-type: none"> 前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、ACアダプターや乾電池を取り外すなどして正常に終了できなかった場合 → 登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。 	12、66
テープエラー テープカートリッジが不適當です	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 → カバーをしっかりと閉めてください。 印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープカートリッジが不適當な場合 → 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。 電源が入っているときにテープカートリッジを交換した場合 → 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。 	15、16
テープエラー テープカートリッジを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジが装着されていない。または、装着方法が誤っている場合 → テープカートリッジを正しく装着してください。 	15
電池残り少 続行しますか？ 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池が消耗している場合 → 新しい乾電池に交換してください、または付属のACアダプターを使用してください。 10℃以下の低温下で使用した場合 → 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。 	66

メッセージ	原因と対処	参照ページ
電池残り少交換してください	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池が消耗している場合 → 新しい乾電池に交換してください、または付属の AC アダプターを使用してください。 10℃以下の低温下で使用した場合 → 使用温度範囲 (10℃～35℃) でご使用ください。 	66
登録データがありません	<ul style="list-style-type: none"> 登録されていない場所を呼び出しや削除しようとした場合 → 別の登録データを選択してください。 	47
長さオーバー印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> 印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 → テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。 	22、 24、 39
長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？ 実行 / 取消し	<p>印刷時に先頭の不要部分のカットができない場合、または、1枚ごとのカットができない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 → [実行]を押してください。印刷が終わったら、ハサミなどで切ってください。 自動的にテープカットをしながら印刷をする場合 → 余白を大きく (小→中または中→大) 指定し直してください (カットモードを「特殊テープ」、余白を「大」に指定すると必ず前後の余白をそろえることができます)。 	25、 39

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> 印刷中に、テープが詰まった場合 → 電源を切ってテープカートリッジを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。 オートテープカッターに異物がはさまった場合 → 電源を切ってテープカートリッジを取り出し、オートテープカッターにはさまった異物を取り除いてください。 	16
	<ul style="list-style-type: none"> ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 → ゴムローラーに付着した異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 テープカートリッジ収納部にあるセンサーに「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 → テープカートリッジ収納部から「テープの切れかす」などの異物を取り除いてください。 	67
	<ul style="list-style-type: none"> 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用し、本機内部にある光センサーが誤作動を起こした場合 → 電源を切った後、強い光が当たらない場所でお使いください。 	
	<ul style="list-style-type: none"> マグネットテープを使用してカットモードを「通常」「切り離す」にした場合 → カットモードを「カットしない」にして印刷してください。 	25
	上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	95

メッセージ	原因と対処	参照 ページ
文字が入力されていません	<ul style="list-style-type: none">文字を入れないで次の操作に進もうとした場合 →文字を入力してから次の操作をしてください。	21

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、綴り方の一覧表です。

あ行	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か行	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	CA		CU		CO
			QU		
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
さ行	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
		SHI			
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
		JI			
た行	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
		CHI	TSU		
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
な行	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
			FU		
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO
ま行	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や行	や		ゆ	い	よ
	YA		YU	YE	YO

ら行	ら	り	る	れ	ろ	
	RA	RI	RU	RE	RO	
	LA	LI	LU	LE	LO	
わ行	わ	ゐ	う	ゑ	を	
	WA	WI	WU	WE	WO	
ん行	ん					
	NN, N + 子音					
	MP + 母音、MB + 母音					
きゃ行	きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ	
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO	
ぎゃ行	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ	
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO	
くぁ行	くぁ	くい	くゅ	くえ	くお	
	QA	QI	QU	QE	QO	
くわ行	くわ	くい	くう	くえ	くお	
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO	
	QWA					
ぐわ行	ぐわ	ぐい	ぐう	ぐえ	ぐお	
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO	
しゃ行	しゃ	しゅ	しえ	しよ		
	SYA	SYU	SYE	SYO		
	SHA	SHU	SHE	SHO		
じゃ行	じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ	
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO	
	JA	JU	JE	JO		
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO	
ちゃ行	ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ	
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO	
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO	
	CHA	CHU	CHE	CHO		
ぢゃ行	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ	
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO	

つぁ行	つぁ	つい	つえ	つお	
	TSA	TSI	TSE	TSO	
てゃ行	てゃ	てい	てゅ	てえ	てよ
	THA	THI	THU	THE	THO
でゃ行	でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とぅ		とぅ			
		TWU			
どぅ		どぅ			
		DWU			
にゃ行	にゃ	にい	にゅ	にえ	によ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ行	びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

ふぁ行	ふぁ	ふい	ふえ	ふお	
	FA	FI	FE	FO	
ふゃ行	ふゃ	ふい	ふゅ	ふえ	ふよ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ぶゃ行	ぶゃ	ぶい	ぶゅ	ぶえ	ぶよ
	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
みゃ行	みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ぶぁ行	ぶぁ	ぶい	ぶえ	ぶお	
ヴぁ行	ヴぁ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
	VA	VI	VU	VE	VO

小文字 (拗音・促音)

あ XA シフト +A	い XI シフト +I	う XU シフト +U	え XE シフト +E	お XO シフト +O
や XYA シフト A Y	ゆ XYU シフト U Y	よ XYO シフト O W	わ XWA シフト A	
つ XTU, XTSU, LTU T シフト U, TS シフト U		カ XKA シフト A	ケ XKE シフト E	

・ N 以外の子音を 2 度入力しても「っ」や「っ」になります。

絵文字

●オフィス



●スケジュール



●天気



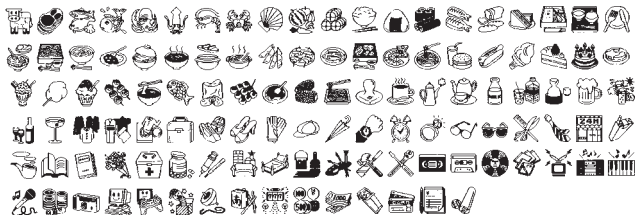
●注意



●案内



●店



絵文字

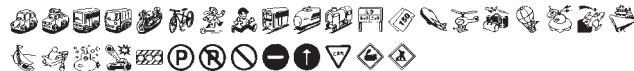
●食べ物



●暮らし



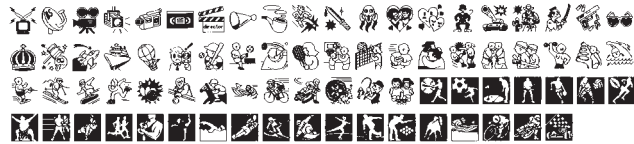
●乗り物



●季節



●ビデオ



用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります（入力項目が異なることはありません）。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ (17種類)	VHS (148mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル コメント						
			3		ぶらりい、タイトル、 コメント1～3	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1～3						
			5		タイトル1～3、 タイトル4～6						
	ミニDV (65mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル コメント						
			3		ぶらりい、タイトル、 コメント1～2	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1～3						
	8ミリ (94mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル コメント						
			3		ぶらりい、タイトル、 コメント1～2	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1～3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ (17種類)	VHS-C (89mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル コメント						
			3		ぶらりい、タイトル、 コメント1～3	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1～3						
オーディオ (15種類)	MD (71mm長)	横	1		タイトル						
			2		タイトル、 コメント						
			3		タイトル、コメント 1～2	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1～3						
	MD背 (57mm長)	横	1		タイトル	-	-	-	-	○	○
	カセット (99mm長)	横	1		タイトル						
			2		タイトル、 コメント						
			3		タイトル、コメント 1～2	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1～3						
	CD/DVD (114mm長)	横	1		タイトル						
2				タイトル、 コメント							
3				タイトル、コメント 1～2	○	○	○	○	-	-	
4				タイトル1～3							
CD/DVD背 (114mm長)	横	1		タイトル	-	-	-	-	○	○	
		2		タイトル、 コメント							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
名前 (18種類)	一般 (65mm長)	横	大1		こうもく、なまえ						
			大2		なまえ、こうもく	○	○	○	○	-	-
			大3		なまえ、 こうもく1～2						
	一般 (45mm長)	横	小1		こうもく、なまえ						
			小2		なまえ、こうもく	○	○	○	○	-	-
			小3		なまえ、 こうもく1～2						
	子供 (80mm長)	横	大1		ねん・くみ、なまえ						
			大2		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	-	-
			大3		がっこう、ねん・ くみ、なまえ						
			大4		がっこう、ねん・ くみ、なまえ						
	子供 (50mm長)	横	小1		ねん・くみ、なまえ						
			小2		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	-	-
			小3		がっこう、ねん・ くみ、なまえ						
			小4		がっこう、ねん・ くみ、なまえ						
	ふりがな付 (80mm長)	横	大1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	-	-
			大2		ねん・くみ、 ふりがな、なまえ						
	ふりがな付 (50mm長)	横	小1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	-	-
			小2		ねん・くみ、 ふりがな、なまえ						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付 (19種類)	封筒 (210mm長)	縦	大1		なまえ						
			大2		じゅうしょ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			大3		じゅうしょ、 なまえ						
	封筒 (140mm長)	縦	小1		なまえ						
			小2		じゅうしょ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			小3		じゅうしょ、 なまえ						
	はがき (90mm長)	縦	1		なまえ						
			2		じゅうしょ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			3		じゅうしょ1、じゅうしょ2、 なまえ						
	差出人 (65mm長)	縦	大1		じゅうしょ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			大2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、 なまえ						
	差出人 (45mm長)	縦	小1		じゅうしょ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
小2				じゅうしょ1、じゅうしょ2、 なまえ							
のし紙 (95mm長)	縦	大1		こうもく							
		大2		こうもく1～2	○	○	○	○	-	-	
		大3		こうもく1～2							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付 (19種類)	のし紙 (65mm長)	縦	小1		こうもく						
			小2		こうもく1~2	○	○	○	○	-	-
			小3		こうもく1~2						
ファイル (17種類)	ファイル背 (180mm長)	縦	大1		タイトル						
			大2		タイトル コメント	○	○	○	○	-	-
			大3		ぶんるい、タイトル、 コメント1~3						
	ファイル背 (140mm長)	縦	小1		タイトル						
			小2		タイトル、 コメント	○	○	○	○	-	-
			小3		ぶんるい、タイトル、 コメント1~3						
	FD/MO (71mm長)	横	1		タイトル						
			2		タイトル、 コメント	○	○	○	○	-	-
			3		タイトル、 コメント1~2						
CD/DVD (114mm長)	横	1		タイトル							
		2		タイトル、 コメント	○	○	○	○	-	-	
		3		タイトル、 コメント1~2							
		4		タイトル1~3							
CD/DVD背 (114mm長)	横	1		タイトル	-	-	-	-	○	○	
		2		タイトル、 コメント							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ファイル (9種類)	備品管理 (70mm長)	横	1		こうもく1~3	○	○	○	○	-	-
			2		こうもく1~2						
値札 (10種類)	総額のみ (70mm長)	横	大1		コメント、 ねだん						
			大2		ひんもく、 ねだん	○	○	○	○	-	-
			大3		ひんもく1~2、 ねだん						
	総額のみ (50mm長)	横	小1		コメント、 ねだん						
			小2		ひんもく、 ねだん	○	○	○	○	-	-
			小3		ひんもく1~2、 ねだん						
	本体併記 (70mm長)	横	大1		ぜいごみ、 ほんたい	○	○	○	○	-	-
			大2		ひんもく、ぜいごみ、 ほんたい						
本体併記 (50mm長)	横	小1		ぜいごみ、 ほんたい	○	○	○	○	-	-	
		小2		ひんもく、ぜいごみ、 ほんたい							

ナンバリングフォーマット一覧

・3.5mm 幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅						
						24	18	12	9	6	3.5	
		横	1	■	ナンバー							
		横	2	■ ■	コメント、 ナンバー							
		横	3	■ ■	ナンバー、 コメント							
		横	4	■ ■ ■	コメント1、ナンバー、 コメント2	○	○	○	○	○	○	—
		横	5	≡	コメント、 ナンバー							
		横	6	≡	ナンバー、 コメント							

各機能における使用可能テープ幅一覧

付録

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/ 24mm	取扱説明書 参照ページ
最大印刷 可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	3行	35ページ 43ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	5行	6行	61ページ
最大“縦” 倍率	標準フォント	—	1倍	2倍	3倍	4倍	42ページ 43ページ
	微小フォント	1倍	1倍	2倍	3倍	3倍	61ページ
“縦”倍率 の合計	標準フォント	—	1	2まで	2まで*	3まで*	35ページ 42ページ
	微小フォント	1	2まで*	3まで*	5まで*	6まで*	43ページ 61ページ

*複数行のときの合計です。

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○	○
用途別ラベル※	○	○	○	○	○	○
ナンバリング印刷	×	○	○	○	○	○
デザインロゴ	×	×	×	○	○	○

※使用可能なテープ幅はフォーマットによって異なります。詳しくは、用途別ラベルフォーマット一覧（79ページ）をご覧ください。

デザインロゴ一覧

分別 (20 種類)

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	燃えるゴミ	燃えるゴミ
2	燃えないゴミ	燃えないゴミ
3	可燃物	可燃物
4	不燃物	不燃物
5	あき缶	あき缶
6	あきビン	あきビン
7	アルミ缶	アルミ缶
8	スチール缶	スチール缶
9	ペットボトル	ペットボトル
10	紙類	紙類
11	新聞・雑誌	新聞・雑誌
12	ダンボール	ダンボール
13	発泡スチロール	発泡スチロール
14	乾電池	乾電池
15	プラ製容器包装	プラ製容器包装
16	スプレー缶	スプレー缶

分別 (20 種類)

番号	本体表示名	デザインイメージ
17	紙バック	紙バック
18	再生可	再生可
19	再生不可	再生不可
20	食品トレー	食品トレー

注意 (21 種類)

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	立入禁止	立入禁止 DO NOT ENTER
2	火気厳禁	火気厳禁 FLAMMABLE
3	土足厳禁	土足厳禁 NO STREET SHOES
4	開放厳禁	開放厳禁 DO NOT LEAVE DOOR OPEN
5	禁煙	禁煙 NO SMOKING
6	飲食禁止	飲食禁止 NO EATING OR DRINKING
7	携帯使用禁止	携帯使用禁止 NO MOBILE PHONES
8	作業中	作業中 WORK IN PROGRESS
9	喫煙所	喫煙所 SMOKING AREA
10	安全第一	安全第一 SAFETY FIRST

注意 (21 種類)

番号	本体表示名	デザインイメージ
11	危険	危険 DANGER
12	開閉注意	開閉注意 OPEN WITH CARE
13	故障	故障 OUT OF ORDER
14	撮影禁止	撮影禁止 NO PHOTOGRAPHY
15	使用禁止	使用禁止 DO NOT USE
16	修理中	修理中 UNDER REPAIR
17	高温注意	高温注意 DANGER HIGH TEMPERATURE
18	高電圧注意	高電圧注意 DANGER HIGH VOLTAGE
19	危険物注意	危険物注意 DANGEROUS MATERIAL
20	巻込まれ注意	巻込まれ注意 WATCH YOUR HANDS
21	はさまれ注意	はさまれ注意 WATCH YOUR HANDS

案内 (11 種類)

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	会計	会計
2	相談窓口	相談窓口
3	整理券	整理券

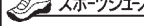
案内 (11 種類)

番号	本体表示名	デザインイメージ
4	ご意見箱	ご意見箱
5	ご自由にどうぞ	ご自由にどうぞ
6	不要レシート入れ	不要レシート入れ
7	係員呼び出し	係員呼び出し
8	品切れ中	品切れ中
9	喫煙席	喫煙席
10	禁煙席	禁煙席
11	お水はセルフサービス	お水はセルフサービス

標語 (11 種類)

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	もう一度確認	もう一度確認
2	4S 運動実施中	4S 運動実施中
3	5S 運動実施中	5S 運動実施中
4	クリーンな職場	クリーンな職場
5	環境にやさしく	環境にやさしく
6	地球温暖化防止	地球温暖化防止

標語 (11 種類)			生活 (12 種類)		
番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
7	リサイクルの推進	 リサイクルの推進	1	手を洗おう!	
8	水資源を大切に	 水資源を大切に	2	歯を大切に	
9	資源の節約	 資源の節約	3	かぜに注意	
10	いつも安全運転	 MPM安全運転	4	水を大切に	
11	やめよう飲酒運転	 やめよう飲酒運転	5	整理整とんをしよう	
			6	物を大切に	
防犯 (5 種類)			7	こまめに消そう	
番号	本体表示名	デザインイメージ	8	決まりを守ろう	
1	セールスお断り	 セールスお断り	9	最後までやりぬこう	
2	チラシお断り	 チラシお断り	10	あいさつをしよう	
3	防犯カメラ設置	 防犯カメラ設置	11	体をきたえよう	
4	ピッキング対策済	 ピッキング対策済	12	健康に気をつけよう	
5	猛犬注意	 猛犬注意			

収納 (10 種類)			書類 (10 種類)		
番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	春夏衣類	 春夏衣類	1	説明書・保証書	 説明書・保証書
2	秋冬衣類	 秋冬衣類	2	重要書類	 重要書類
3	シーツ・カバー	 シーツ・カバー	3	学校書類	 学校書類
4	タオル類	 タオル類	4	習い事・クラブ	 習い事・クラブ
5	ゲームソフト	 ゲームソフト	5	カタログ・クーポン	 カタログ・クーポン
6	おもちゃ	 おもちゃ	6	診察券・カード	 診察券・カード
7	パンプス	 パンプス	7	折曲厳禁	 折曲厳禁
8	サンダル	 サンダル	8	写真在中	 写真 在中
9	フォーマル	 フォーマル	9	AIR MAIL	 AIR MAIL
10	スポーツシューズ	 スポーツシューズ	10	取扱注意!	 取扱注意!

仕様

形式 : KL-M6

入力

キー配列 : JIS 配列準拠
入力方法 : ローマ字入力、JIS かな入力
変換方式 : 熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数 : 熟語変換 約 88,000 語
単漢字変換 約 13,000 語

文字種

5,491 文字

漢字 : 4,166 文字
JIS 第 1 水準 2,965 文字
JIS 第 2 水準 1,201 文字
ひらがな : 83 文字
カタカナ : 86 文字
数字 : 10 文字
アルファベット : 52 文字
ギリシア文字 : 48 文字
ロシア文字 : 66 文字
記号 : 424 文字
絵文字 : 556 文字

表示

液晶表示 : 128 × 64 ドット+シンボル (8 桁× 4 行)
入力部分 : 8 桁× 1 行 (フリーラベル以外での入力時)
8 桁× 3 行 (フリーラベル入力時)
表示文字構成 : 16 × 16 ドット
8 × 16 ドット (メニュー・メッセージ専用)
8 × 8 ドット (メニュー・メッセージ専用)

印刷

印字密度 : 200dpi
印刷方式 : 熱転写方式
印字速度 : 約 10mm/ 秒
印字幅 : 約 12mm
a) 2mm (テープ幅 3.5mm)
b) 4mm (テープ幅 6mm)
c) 7mm (テープ幅 9mm)
d) 10mm (テープ幅 12mm)
e) 12mm (テープ幅 18mm/24mm)

・印字速度は印字環境、条件等により異なります。

文字構成 : ビットマップフォント

書体 : 和文書体
(明朝体*、ゴシック体*)

英数書体

(明朝体*、ゴシック体*、ステンシル、ポップ)

*この書体は、(財)日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。
フォントとして無断複製することは禁止されています。

平成明朝体™W8、平成角ゴシック体™W5

印刷方向 : 横書き・縦書き・裏書き

印刷文字体 : 標準・太字・白抜・影付・立体

印字行数 : 3.5mm 幅テープ使用時 1 行印刷可能
6mm 幅テープ使用時 1 ~ 2 行印刷可能
9mm 幅テープ使用時 1 ~ 3 行印刷可能
12mm 幅テープ使用時 1 ~ 5 行印刷可能
18mm/24mm 幅テープ使用時 1 ~ 6 行印刷可能

内部記憶

文字編集用の記憶	: フォーマットごとに設定 (フリーラベルでは 127 文字)
文字登録用の記憶	: 各機能共通で 10 件
単漢字変換学習	: 約 10 語

登録

文字編集用記憶エリア一括登録 (上書き)

電源・その他

動作用電源	: AC アダプター (AD-A12090L) 家庭用 100V 電源使用 単 3 形アルカリ乾電池 (8 本・市販品)
消費電力	: 9W
オートパワーオフ	: 約 6 分
大きさ	: 幅 202mm × 奥行 216mm × 高さ 64.5mm (足含む)
質量	: 約 750g (乾電池含まず)
使用温度	: 10℃ ~ 35℃

別売品について

別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下の URL をご確認ください。

<http://casio.jp/d-stationery/>

- クリーニングテープ
XR-24CLE
長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。
 - ネームランド用ハサミ
CU-10
9 ミリ幅 ~ 24 ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。
 - マグネットテープ用ハサミ
CU-15J
本機に装着されているカッターの消耗を避けるためのハサミです。
- ・ 品切れの際はご容赦ください。
 - ・ 別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

キー	
へ	48
▽	48
◀	48
▶	48
aA	49
入切	13
あア	49
印刷	18
印刷プレビュー	18.21
機能	19
空白	51
後退	57
実行	18
シフト	51.54
書式	37
単漢字	53
取消し	19
行化	33
フォント	60
フレーム印刷	44
変換	51
無変換	50
文字削除	56
縦書印刷	45

アルファベット・数字	
ACアダプター	12
2行印字	35
あ行	
アフターサービス	94
網掛	63
アルファベットの入力	49
イメージャー表示	36
印刷	25
印刷濃度	64
印刷プレビュー	21
印刷方向	36
印字行数	35,44,82
印字サイズ	42
印字密度	90
裏書き	36
上書き	58,59
英数書体	60
絵文字	56
絵文字一覧	76
エラーメッセージ	71
オートカッター	25
オートパワーオフ	13
送り無	23
か行	
カーソル	48
改行	36
確定	51
各部の名前	9
影付	62
下線(修飾)	63
下線(変換)	52
カタカナの入力	50
カタカナ変換	50
カットモード	50
かな漢字混じり文の入力	25
かな入力	49
画面	20
漢字の入力	51
乾電池	66

乾電池カバー	66
キー	18
キーボード	18
キーのはたらき	18
記号一覧	75
記号の入力	55
輝度(画面)	64
行頭	48
行末	48
均等割付	41
クリーニング	67
後退	57
ゴシック体	60
ゴムローラー	67
小文字(促音・拗音)の入力	51
こんなときは(トラブルシューティング)	68
さ行	
サイズマーク	43
削除(部分)	57
削除(文削除)	57
削除(文字削除)	56
ジャストフィット印刷	42
ジャストフィットマーク	43
熟語変換	51
仕様	90
使用できるテープ	82
初期化	13
初期フォント	61
書式	36
書体	60
白抜	62
数字の入力	54
スクロール	48
ステンシル	60
設定	
印刷濃度	64
輝度調整	64
初期フォント	61
挿入/上書き	58
デモ印刷	65
ローマ字がな入力	49

前候補	52
全文削除	57
挿入	58
た行	
ダイレクト設定	40
縦書き印刷	45
縦横同時印刷	45
単漢字変換	53
小さな文字	43,61
定型フォーマット	29
デザインロゴ	33
デザインロゴ一覧	83
データの削除	47
データの登録	46
データの保持	12,66
データの呼び出し	47
テープ	15
テープ送り	23
テープカートリッジ	15
テープカートリッジのセット	15
テープカートリッジの取り出し	16
テープガイド	15
テープカット	25
テープ長固定	39
テープ出口	9
テープ長さダイレクト設定	40
テープの長さ	39
テープ幅と行数・倍率一覧	82
デモ印刷	65
電源	12
電源を入れる	13
電源を切る	13
電池をセットする	66
登録	46
同音異義語変換	52
トラブルシューティング	68
な行	
内蔵漢字一覧	85
長さ指定	39
中寄せ	41

ナンバリング (通し番号ラベル)	31	文字キー	19
入力		文字サイズ	42
絵文字	56	文字削除	56
記号	55	文字修飾	63
文字	49	文字体	62
は行		文字の入力	49
ハーフカット	25	文字の訂正	56
倍率マーク	43	文字倍率	43
微小フォント	43,61	文字割付	41
左寄せ	41	持ち運び用ハンドル	9
表示画面	20	や行	
ひらがなの入力	50	用途別ラベル	29
フォーマット	29	用途別ラベルフォーマット一覧	79
フォント (書体)	60	余白	38
複数行の印字	35	ら行	
付属品	10	リセット (初期化)	13
太字	62	立体	62
部分削除	57	連番印刷	31
フリーラベル	35	ローマ字入力	49
プリンターヘッド	16	ローマ字入力一覧	74
フルカット	25	わ行	
フレーム	44	枠付	63
フレーム一覧	78	和文書体	60
プレビュー画面	21	割付	41
文削除	57		
別売品について	91		
変換			
カタカナ	50		
熟語	51		
単漢字	53		
同音異義語	52		
方向 (印刷方向)	36		
ポップ	60		
保証	94		
ま行			
右寄せ	41		
明朝体	60		
メモリー (登録)	46		
メモリーの初期化 (リセット)	13		
文字間隔	36		

MEMO